

令和6年度 入学生

# 共通教育 履修案内

令和6年4月



鹿児島大学共通教育センター

# 令和6年度（2024年度）共通教育行事予定表

授業日（第1ターム、第3ターム）  
 授業日（第2ターム、第4ターム）

月	曜 日							行 事
	日	月	火	水	木	金	土	
R6年 2024年		1	2	3	4	5	6	1日(月) 既修得単位認定申請
	7	8	9	10	11	12	13	1日(月)～22日(月) 技能審査(外国語技能検定試験) 合格者等の認定申請
	14	15	16	17	18	19	20	3日(水)～4日(木) 新入生の履修申請(前期:1T、2T、1T～2T) ※一部の集中講義は別途案内
	21	22	23	24	25	26	27	5日(金) 入学式
	28	29	30					8日(月) 午前:抽選もれ科目の発表 午後:履修申請(前期:1T、2T、1T～2T) 2回目
4								8日(月) 教室発表
								9日(火) 授業開始(前期)
								15日(月)～16日(火) 履修申請(前期:1T、2T、1T～2T) 3回目
5				1	2	3	4	1日(水) 月曜日の振替授業
	5	6	7	8	9	10	11	7日(火) 月曜日の振替授業
	12	13	14	15	16	17	18	7日(火) 4月17日以降の履修科目取消し申請期限(前期)
	19	20	21	22	23	24	25	30日(木) 予備日
	26	27	28	29	30	31		
6							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
7								
		1	2	3	4	5	6	1日(月)～8日(月) 既修得単位認定申請
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	30日(火) 予備日
	21	22	23	24	25	26	27	
8					1	2	3	7日(水) 試験予備日
	4	5	6	7	8	9	10	8日(木)～9月30日(月) 夏季休業(集中講義あり)
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9								
	1	2	3	4	5	6	7	2日(月) 成績発表(前期:1T、2T、1T～2T)
	8	9	10	11	12	13	14	2日(月)～9日(月) 成績開示(異議申し立て) 期間 ※9月卒業生と進級判定に関わる人は9月4日(水) まで
	15	16	17	18	19	20	21	9日(月)～10日(火) 履修申請(後期:3T、4T、3T～4T) ※一部の集中講義は別途案内
	22	23	24	25	26	27	28	4日(水)～9日(月) 科目等履修生の願書受付(後期)
10								
								13日(金) 抽選もれ科目の発表、履修申請(後期:3T、4T、3T～4T) 2回目
								30日(月) 卒業式(9月卒業生)
	6	7	8	9	10	11	12	1日(火) 授業開始(後期)
	13	14	15	16	17	18	19	1日(火)～21日(月) 技能審査(外国語技能検定試験) 合格者等の認定申請
11								
								8日(火)～9日(水) 履修申請(後期:3T、4T、3T～4T) 3回目
								15日(火) 月曜日の振替授業
12								
								1日(金) 10月12日以降の履修科目取消し申請期限(後期)
								15日(金)～18日(月) 終日休講(大学祭)
								15日(金) 鹿児島大学記念日
								20日(水) 月曜日の振替授業
R7年 2025年								
								21日(木) 予備日
1								
								16日(木) 金曜日の振替授業
								17日(金) 終日休講(窓口休業) 大学入学共通テスト会場設営
								18日(土)～19日(日) 大学入学共通テスト
								28日(火) 予備日
2								
								5日(水) 試験予備日
								21日(金) 成績発表(後期:3T、4T、3T～4T)
								21日(金)～2月28日(金) 成績開示(異議申し立て) 期間 ※卒業・進級判定に関わる人は2月26日(水) まで
								25日(火)～26日(水) 個別試験(前期日程)
3								
								3日(月)～7日(金) 科目等履修生の願書受付(前期)
								12日(水) 個別試験(後期日程)
								13日(木)～14日(金) 履修申請(次年度前期:1T、2T、1T～2T) ※一部の集中講義は別途案内
								25日(火) 卒業式

- ※1 行事日程が変更された場合は、掲示板等でお知らせします。
- ※2 休講に伴い授業時間数が不足する場合は、原則として予備日に補講を行います。自然災害等により予備日が不足する場合は、各ターム7回目の6時限、土日祝日に補講を行う場合もあります。
- ※3 各タームの週1コマ授業(1単位科目)は、各タームの最終日を授業45分、期末試験45分とします。
- ※4 各タームの週2コマ授業(2単位科目)は、各タームの最終日を期末試験日とします。
- ※5 第1～2ターム、第3～4の週1コマ授業(2単位科目)は、第2ターム、第4タームの最終日を期末試験日とします。

# 目 次

	頁
<b>I 鹿児島大学の教育課程と共通教育の概要</b> -----	1
<b>II 共通教育の教育目標と編成・実施方法</b> -----	2
〔1〕 共通教育の教育目標	2
〔2〕 共通教育の編成・実施方法	3
<b>III 授業を受ける前に知っておくこと</b> -----	4
〔1〕 学年・学期・4ターム制・授業時間	4
1 学年	4
2 学期	4
3 4ターム制	4
4 授業時間	4
〔2〕 学籍番号と学部別クラス編成	4
〔3〕 授業方法に応じた学修時間	6
〔4〕 授業中のマナーについて	6
〔5〕 共通教育に関する連絡	7
<b>IV 共通教育科目の履修基準</b> -----	8
〔1〕 卒業要件単位数	8
〔2〕 各期の履修申請単位数の上限設定	9
〔3〕 グレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度	10
<b>V 共通教育の教育科目と単位の取り方</b> -----	12
○初年次教育科目 【必修科目】	
〔1〕 初年次セミナーⅠ -----	13
1 内容	13
2 単位の取り方	13
〔2〕 初年次セミナーⅡ -----	13
1 内容	13
2 単位の取り方	13
〔3〕 大学と地域 -----	14
1 内容	14
2 単位の取り方	14
〔4〕 体育・健康 -----	15
<1>理論	15
1 内容	15
2 単位の取り方	15
<2>実習	15
1 内容	15
2 単位の取り方	15
〔5〕 情報活用 -----	16
1 内容	16
2 単位の取り方	16

○グローバル教育科目 【必修科目】	17
〔1〕英語 -----	17
1 内容	17
2 単位の取り方	17
〔2〕異文化理解 -----	20
1 内容	20
2 単位の取り方	20
○教養教育科目（教養基礎科目）【選択必修科目】	21
〔1〕人文・社会科学分野	21
<1>初修外国語-----	21
1 内容	21
2 単位の取り方	21
<2>選択科目 -----	23
1 内容	23
2 単位の取り方	23
・ 開設授業科目一覧	23
〔2〕自然科学分野	26
<1>教育職員免許状取得に係る実験科目 -----	26
1 内容	26
2 単位の取り方	26
3 履修学年	26
<2>選択科目 -----	27
1 内容	27
2 単位の取り方	27
・ 開設授業科目一覧	27
<3>基礎教育入門科目 -----	29
1 内容	29
2 単位の取り方	29
・ 開設授業科目一覧	29
○教養教育科目（教養活用科目）【選択必修科目】	30
〔1〕統合Ⅰ（課題発見）-----	30
1 内容	30
2 単位の取り方	30
・ 開設授業科目一覧	30
〔2〕統合Ⅱ（課題解決）-----	31
1 内容	31
2 単位の取り方	31
・ 開設授業科目一覧	31
<b>Ⅵ 外国人留学生のための科目の概要と単位の取り方</b> -----	<b>33</b>
〔1〕日本語・日本事情科目	33
1 学習目標	33
2 内容	33
3 単位の取り方	33
〔2〕外国人留学生の単位の取り方	34
1 教養基礎科目、教養活用科目と日本事情科目の読み替え	34
2 外国語について	34

<b>VII 履修手続きをする前に知っておくこと</b> -----	36
〔1〕 入学前に修得した単位の認定	36
〔2〕 技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定	36
〔3〕 教員免許状の取得	36
〔4〕 学芸員資格の取得	36
〔5〕 高度共通教育科目	37
<b>VIII 履修手続</b> -----	39
〔1〕 シラバス	39
〔2〕 履修計画	39
〔3〕 履修申請	39
〔4〕 履修手続きの流れ	40
<b>IX 共通教育に関する授業アンケート（授業評価）</b> -----	44
<b>X 試験及び単位認定</b> -----	45
〔1〕 試験	45
〔2〕 単位認定とGPA制度	45
〔3〕 追試験	47
〔4〕 再試験	47
〔5〕 受験上の注意	47
〔6〕 不正行為の措置	48
〔7〕 成績評価等に対する開示請求と異議申立て	48
〔8〕 単位互換制度	49
<b>XI 学生生活</b> -----	51
〔1〕 自然災害等非常時における授業・学期末試験等の取扱い	51
〔2〕 学生生活上の相談	53
1 修学及び学生生活一般	53
2 担任教員等	54
〔3〕 諸願・届及び注意事項	57
1 学生の身分異動等	57
2 証明書などの発行	57
3 車両等による通学	58
4 健康の維持	58
5 共通教育棟の施設の利用（PCの利用など）	59
6 その他	59
<b>XII 転学部について</b> -----	62
<b>【規則等一覧】</b>	
○ 鹿児島大学共通教育科目履修規則	63
○ 鹿児島大学共通教育科目試験等規則	68
○ 鹿児島大学共通教育センター科目等履修生に関する細則	70
○ 鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則	71
○ 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則	74
○ 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群に係る技能審査等の認定基準に関する申合せ	76

<b>【その他の表・図】</b>	7 8
・ 鹿児島大学配置図（郡元キャンパス）	7 8
・ 鹿児島大学共通教育棟配置図（共通教育棟講義室等略図）	7 9
<b>【共通教育科目時間割表】</b>	8 1
・ 履修申請表（ワークシート）	8 7

※共同獣医学部の共通教育に関する詳細は、共同獣医学部共通教育履修案内に記載してあります。

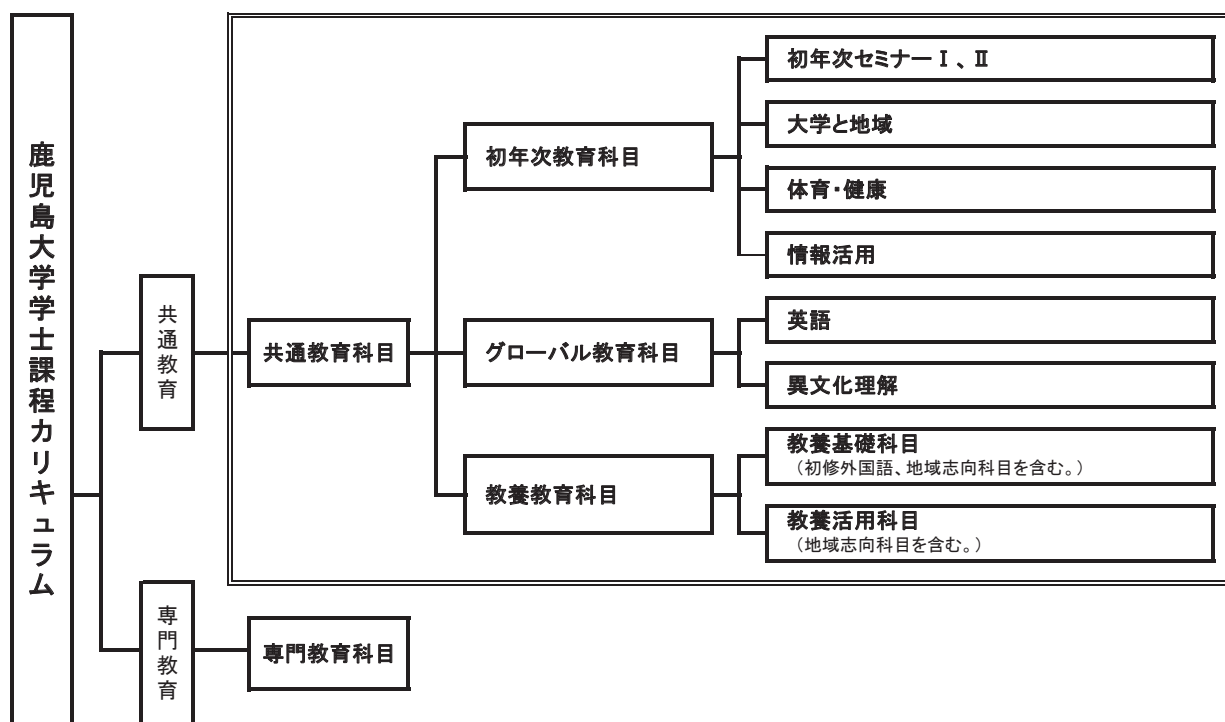
# I 鹿児島大学の教育課程と共通教育の概要

鹿児島大学は、大学憲章において、「学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。」と明示しています。特に、教育に関しては、「学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。」ことに取り組んでいます。そのために、鹿児島大学では4（6）年一貫教育体制のもとで、共通教育と専門教育との相互の有機的な連携を図りつつ、地域社会との協力や国際化にも対応する視点をもって、総合大学としての幅広い教育を進めます。

鹿児島大学の教育課程は、共通教育における共通教育科目と専門教育における専門教育科目で構成されています。共通教育科目は共通教育センターで企画・運営されており、全学部の教員による支援体制のもとで、初年次教育科目、グローバル教育科目、教養教育科目で構成しています。初年次教育科目は、大学での学び方の特徴や大学と地域との関わりを理解し、自主自律的に学び続けるための基盤となる思考法や学修技術、自己管理能力を身につけるための科目です。グローバル教育科目は、グローバル化が進む社会で貢献するための基盤となる語学力や異文化を理解する能力を育てるための科目です。そして、教養教育科目は、地域や国際社会における課題を発見し、追究、解決することをとおして社会に貢献できる能力を養成するための科目です。

なお、共通教育科目として2年次以上を対象とした「高度共通教育科目」が開講されます。（p. 37を参照）「高度共通教育科目」は共通教育センターで開講しますが、卒業要件上は専門教育の単位となり、認められる単位数は学部によって異なります。

専門教育科目は、各学部の専門的な知識や技能を修得するとともに、豊かな人間性、論理的な思考力や課題解決能力などを養成するための科目です。



## Ⅱ 共通教育の教育目標と編成・実施方法

### 〔1〕共通教育の教育目標

共通教育では、鹿児島大学憲章と鹿児島大学教育目標に基づき、次のような理念と教育目標を設定します。

理 念	教 育 目 標
1. 自己理解	①自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる。 ②必要な知識・技能の獲得に向けて行動できる。
2. 情報収集・ 精査・統合	①必要な情報を収集できる。 ②集めた情報を信頼性や必要性に基づき精査できる。 ③個別の知識を統合して課題の解決策を提案できる。
3. 論理的思考	①幅広い視野から課題の解決策を考えることができる。 ②多様な情報の信頼性を論理的に説明できる。 ③自分の考えを論理的に話し、書くことができる。
4. 科学的思考	①科学的根拠に基づく仮説を立てることができる。 ②事実やデータに基づき、仮説を検証できる。
5. 倫理	①社会生活の基盤となる倫理について、考えを述べられる。 ②倫理を弃えた表現、行動ができる。
6. 実践	①状況に応じた方法で必要な行動ができる。 ②課題の解決に向けて主体的に行動できる。
7. 他者との協働	①自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる。 ②他者と協力して課題の解決を図ることができる。



## 〔2〕 共通教育の編成・実施方法

共通教育では「初年次教育科目」、「グローバル教育科目」及び「教養教育科目」を開設し、教育目標の達成を目指します。それぞれの科目や分野は以下のとおりです。

### ○「初年次教育科目」

- (A) 大学での学修に必要となる自主自律的な学び方の修得を主な目的として、「初年次セミナーⅠ」と「初年次セミナーⅡ」を設けます。教育目標のうち、特に、自己理解、論理的思考、科学的思考、他者との協働の達成を目指します。
- (B) 地域における知の拠点としての鹿児島大学において学修する意義を明確にし、地域貢献に関する意識の向上を主な目的として、「大学と地域」を設けます。教育目標のうち、特に、情報収集・精査・統合、論理的思考の達成を目指します。
- (C) 心身の育成や健康の管理法の修得を主な目的として、「体育・健康（理論）」と「体育・健康（実習）」を設けます。教育目標のうち、特に、自己理解、実践の達成を目指します。
- (D) 情報に関する基本的・実践的な学修技術の修得を主な目的として、「情報活用」を設けます。教育目標のうち、特に、科学的思考、実践の達成を目指します。

### ○「グローバル教育科目」

- (E) 文化の異なる他者とのコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化の理解を主な目的として、「英語」と「異文化理解」を設けます。教育目標のうち、特に、自己理解、論理的思考の達成を目指します。

### ○「教養教育科目」

- (F) 幅広い視野や思考力の育成などを主な目的として、「教養基礎科目」に2つの分野（「人文・社会科学」と「自然科学」）を設けます。教育目標のうち、特に、論理的思考、科学的思考、倫理の達成を目指します。
- (G) 地域社会や環境問題など現代社会が抱える諸問題について、課題を発見する能力や解決する能力の育成を主な目的として、「教養活用科目」に2つの分野（「統合Ⅰ」と「統合Ⅱ」）を設けます。教育目標のうち、特に、自己理解、論理的思考、科学的思考、他者との協働の達成を目指します。

### 地域志向科目とは

教養教育科目の中に「地域志向科目」として位置付けられている科目があります。この科目は、地域の諸課題を発見・探究・解決し、地域社会の発展に貢献できる行動力を養い、地域課題の解決に向けて果敢に立ち向かう行動力と地域貢献マインドを備えた人材、地域課題を把握・分析し、その解決方法を導き、将来ビジョンを描ける人材グローバルに通用する専門知と地域課題とをリンクさせて、科学的な知見に基づく多角的視点を持った人材の育成を目的としています。

## Ⅲ 授業を受ける前に知っておくこと

### 〔1〕 学年・学期・4ターム制・授業時間

#### 1 学年

4月1日に始まり翌年3月31日に終わる1年間を学年と定めています。(学則第23条)  
入学後の進行年数に応じて、1年次、2年次、・・・と呼びます。

#### 2 学期

学年を、前期、後期の2学期に分けます。(学則第24条)

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

また、入学年次から各学期を積算して、1年次前期を1期、後期を2期、2年次前期を3期、・・・とも呼びます。

#### 3 4ターム制

前期と後期の各授業期間を、さらに前半と後半に分けます。(第1～4ターム)

多くの授業は、第1～2ターム、第3～4タームの期間で実施しますが、1つのタームのみの期間で完結する授業もあります。

<前期> 4月中旬～6月上旬「第1ターム」、6月中旬～8月上旬「第2ターム」

<後期> 10月～11月下旬「第3ターム」、12月～2月上旬「第4ターム」

#### 4 授業時間

本学における授業は、90分を単位として、下記の時限、時間区分によって行われます。

(なお、桜ヶ丘キャンパスは、各時限開始時間が郡元キャンパスの10分遅れです。)

時限	1	2	3	4	5
時間	8:50～ 10:20	10:30～ 12:00	12:50～ 14:20	14:30～ 16:00	16:10～ 17:40

### 〔2〕 学籍番号と学部別クラス編成

授業は、原則として授業時間割で示される範囲内で授業クラスを編成して行います。

学部別クラス編成は、次頁に記載されているとおりですので、学部・学科等のコード番号を確認してください。また、学部・学科等のコード番号は、学生証に記載されている学籍番号でも確認できます。

みなさんの学籍番号は、以下のように10桁の数値から成り立っています。

○○ ○○ ○○ ○○○ ○

学部 入学年度 学科等 番号 チェックデジット

なお、入学年度は、西暦の下2桁の数値です。また、チェックデジットとは電算処理上必要なものです。

## クラス編成

学部[コード]	学科等名称[学籍番号の学科等コード2桁] (学籍番号の番号3桁)	組
法文学部 [11]	法経社会学科(法学) [62]	1
	法経社会学科(地域社会・経済) [63]	2
	人文学科(多元地域文化) [64]	3
	人文学科(心理学) [65]	
教育学部 [07]	学校教育教員養成課程 初等教育コース一般[41]	1
	学校教育教員養成課程 初等教育コース音楽[42]	
	学校教育教員養成課程 初等教育コース保健体育[43]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース国語[68]	2
	学校教育教員養成課程 中等教育コース社会[69]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース英語[74]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース数学[70]	3
	学校教育教員養成課程 中等教育コース理科[71]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース技術[72]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース家政[73]	4
	学校教育教員養成課程 中等教育コース音楽[44]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース美術[45]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース保健体育[46]	
	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース[63]	
理学部 [22]	理学科[60] (001~095)	1
	理学科[60] (096~)	2
医学部 [42]	医学科[10]	1
	保健学科(看護学専攻) [21]	2
	保健学科(理学療法学専攻) [22]	
	保健学科(作業療法学専攻) [23]	
歯学部 [43]	歯学科[10]	1
工学部 [25]	先進工学科(機械工学プログラム) [32]	1
	先進工学科(電気電子工学プログラム) [33]	2
	先進工学科(海洋土木工学プログラム) [34]	3
	先進工学科(化学工学プログラム) [35]	4
	先進工学科(化学生命工学プログラム) [36]	4
	先進工学科(情報・生体工学プログラム) [37]	2
	先進工学科(工学系共通クラス) [38]	5
	建築学科(建築学プログラム) [40]	3
農学部 [34]	農学科[50]	1
		2
		3
		4
	国際食料資源学特別コース[41]	水産学部2組と混合
水産学部 [38]	水産学科[50] (001~075)	1
	水産学科[50] (076~)	2
	国際食料資源学特別コース[70]	
共同獣医学部 [36]	共同獣医学科[11]	1
	畜産学科[21]	2

### 〔3〕授業方法に応じた学修時間

授業は、講義、演習、実習及び実験のいずれかの方法により行います。

『講義』：知識の理解等のために、教員の解説を中心にして学ぶことを主とした授業。

『演習』：学修内容の知識を深め、考察するために、学生が自ら研究し、発表や討議を行うことを主とした授業。

『実習』：知識や手技・技術を、実際の現場で、または実物を用いて学ぶことを主とした授業。

『実験』：理論や仮説を確かめるために観察や測定を通して行われる実験を、実際に経験することで学ぶ授業。

授業科目の学修を数量的に表すために「単位」という概念を用いています。単位の計算方法は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業及び授業時間外に必要な学修がこれに含まれます。共通教育においては、授業方法に応じ、1単位あたりに必要な学修時間数を次のように定めています。授業時間数は90分の授業を2時間として計算します。例えば、1単位あたりに要する授業時間数が15時間と定められた授業科目において、単位数が2単位の場合は、90分(みなし2時間)×15回(計30時間)の授業が行われます。

#### 1 単位あたりの標準学修時間

授業方法	授業時間数	授業時間外学修 (予習・復習等)
講義 (英語、初修外国語以外)	15時間	30時間
講義 (英語 <sup>【注】</sup> 、 初級・中級初修外国語：教養基礎選択必修科目、 初修外国語入門：教養基礎選択科目)	30時間	15時間
演習 (高度共通教育科目以外)	30時間	15時間
演習 (高度共通教育科目)	15時間	30時間
実習	30時間	15時間
実験	30時間	15時間

【注】共同獣医学部は別途定める。

### 〔4〕授業中のマナーについて

共通教育センターでは、学生の皆さんが勉学に励むことができるよう、快適な学習環境の維持に努めています。授業中の以下の行為については、真面目に授業を受けている学生や、授業を担当する教員にとって大変迷惑となります。快適な授業環境を保つために授業中のマナーを守るようお願いします。

#### (1) 授業の撮影・録画・録音について

特別な理由がある場合を除き、授業の撮影・録画・録音は原則禁止です。必要な場合は必ず授業担当教員の許可を得てください。

(特別な理由の一例)

障害等を理由に合理的配慮を希望される方は、修学支援室（障害学生支援センター）にて、一括して修学支援を申し出ることが可能です。

(2) スマートフォン（携帯電話）などの使用

授業担当教員の指示により、もしくは授業担当教員の許可を得て授業のために使用する場合を除き、これらの機器を使用することは原則禁止です。

## 〔5〕 共通教育に関する連絡

共通教育の主な連絡事項（行事予定、履修、成績、集中講義、学芸員資格科目、学部からの案内等）は、原則として共通教育掲示板に掲示します。

登校の都度、必ず掲示板をみる習慣を身につけ、掲示の見忘れによる不都合が生じないようにしてください。

また、鹿児島大学ホームページや電子メールでも通知・連絡を行いますので、定期的に確認をしてください。

(1) 共通教育掲示板

共通教育棟1号館1階南側（p.79の「鹿児島大学共通教育棟配置図」を参照）

(2) 鹿児島大学ホームページ

① 「在学生」の「インフォメーション」と、「教育・学生生活」の「お知らせ」に最新のお知らせを掲載しています。

② 「教育・学生生活」の「共通教育」に開設授業科目、行事予定、授業が行われる教室等の情報を掲載しています。

(3) 電子メール

休講や補講などの通知を電子メールで行います。

電子メールを受信するためには、「学務Webシステム」の「学生カード」でメールアドレスなどの連絡先を登録する必要がありますので、必ず「学生カード」の登録を行ってください（「鹿児島大学 学務系 portal サイト」の「学生カードの登録方法」を参照）。

## Ⅳ 共通教育科目の履修基準

### 〔1〕卒業要件単位数

鹿児島大学を卒業するには、専門教育科目だけでなく、「鹿児島大学共通教育科目履修規則」第7条の規定（p. 63参照）により、各学部・学科等の共通教育科目の卒業要件単位数を修得しなければなりません（p. 11参照。ただし、外国人留学生はp. 35を参照。）

卒業要件単位数は、各科目あるいは全体として、最低何単位以上を修得しなければならないという履修基準を定めたもので、規則のなかではもっとも重要な事項です。所属する学部・学科等の履修基準を十分に確かめてください。

注意

- （1）学部・学科等によって、同じ授業科目であっても卒業要件単位数に算入される場合と算入されない場合がありますので注意してください。
- （2）履修申請に際しては、履修申請単位数の上限設定があるので、次の「〔2〕各期の履修申請単位数の上限設定」をよく読んでください。

### よくある質問

#### 卒業要件単位数に算入されない場合とは？

- ①グローバル教育科目の英語で指定（p. 18）された以外の英語科目を履修した場合です。
- ②基礎教育入門科目で指定（p. 29）された以外の基礎教育入門科目を履修した場合です。

## 〔2〕各期の履修申請単位数の上限設定

授業科目の1単位は、授業時間外の予習、復習に要する時間（Ⅲ－〔3〕「授業方法に応じた学修時間」p. 6参照）を考慮に入れて定められていることにより、下表のように、学部毎に、各期の履修申請単位数の上限を設定しています。

学 部	履修申請単位数の上限	学 部	履修申請単位数の上限
法 文 学 部	24単位	教 育 学 部	24単位
理 学 部	24単位	医学部医学科	30単位
		医学部保健学科	24単位
歯 学 部	30単位	工 学 部	20単位
農 学 部	24単位	水 産 学 部	24単位
共同獣医学部共同獣医学科	50単位（年間）		
共同獣医学部畜産学科	24単位		

表中の履修申請単位数とは、各期における共通教育科目及び専門教育科目を含めた総履修申請単位数を意味し、その上限数を表しています。ただし、学部によって、成績優秀者等について、上限を緩和する措置があります。緩和条件は各学部で異なりますので、詳細は、所属学部の履修要項等で確認してください。

注意

- (1) 履修申請単位数の上限枠に含まれない（対象外）科目などは学部により異なりますので、詳細は所属学部の履修要項や学部オリエンテーション等で確認してください。
- (2) 共通教育において夏季休業中等に行われる集中講義は、すべての学部生に対して履修申請単位数の上限枠に含まれません。なお、これらの履修申請は、他の科目とは別の時期に行われます。
- (3) 教育学部、理学部、工学部、農学部、水産学部の外国人留学生に対しては、日本語科目は履修申請単位数の上限枠に含まれません。

みなさんは所属学部の上限数を考慮に入れて履修計画を立てる必要があります。履修申請単位数の上限数に対して、共通教育科目及び専門教育科目の履修申請単位数の総合計が上限数を超えないように申請しなければなりません。共通教育科目と専門教育科目のすべての履修申請が終了した段階で、学務Webシステムで閲覧・確認し、もしも履修申請単位数合計が上限数を超過していた場合には、所定の手続きで履修申請科目の一部を取り消してください。万が一、この手続きをしなかった場合には、当期の成績処理が行えなくなるので、必ず取り消しを行ってください。履修手続の詳細については、「Ⅷ 履修手続」p. 39を参照してください。

履修単位数の上限を設定している理由は、授業時間とともに予習・復習時間も必要としているからです。受講生がそのように有効に時間を使えば、必然的に受講科目数に限界が生じます。したがって、履修申請が確定した科目の単位を確実に修得（試験等に合格）しなければ4（6）年間で卒業要件を満たせず、卒業延期になる場合もあります。このことから、たとえ履修申請した科目が選択科目であっても、受講が確定した科目については、必修科目と同じ意味を持ちますので、必ず合格するように勉学に努めてください。なお、専門教育科目については、成績優秀者に対する履修単位数の上限を緩和する制度が設けられている学部があります。詳しくは、所属学部の履修要項等を参照してください。



### 〔3〕 グレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度

共通教育科目の成績の評価は、GPA制度により行います。従来、大学での学修は単位が修得できたかどうか重要視されてきましたが、この制度は、履修した科目の理解度の平均値を示すことにより、みなさんが自分の学習成果について自己点検できる利点があります。また、共通教育センターでは、主としてGPAをもとに成績優秀者の表彰と成績不振者に対する助言・指導を行い、勉学意欲の向上や生活環境の改善に目配りをします。

さらに、授業の実施結果を共通教育科目の厳格な成績評価や授業運営の点検にも利用し、授業改善に役立てるとともに、留年対策などにも役立てていきます。

GPA制度に関する詳細は、「X 試験及び単位認定」 p. 45を参照してください。

#### 【GPAの具体例】

学年：1年前期

〇〇学部 〇〇学科

000000011 共通 太郎

#### 学業成績表の例示

授業科目名	評点	評価	GP	単位	
キャリアデザイン	95	A	4	2	評価のA～Fの総単位数 Aは、3単位 Bは、9単位 Cは、8単位 Dは、3単位 Fは、2単位
体育・健康科学実習	90	A	4	1	
英語 I A	88	B	3	1	
日本国憲法	85	B	3	2	
初年次セミナー I	83	B	3	2	
大学と地域	82	B	3	2	
基礎数学入門	80	B	3	2	
生物学入門	78	C	2	2	
情報活用	75	C	2	2	
初級独語 I	74	C	2	2	
基礎物理学入門	72	C	2	2	
体育・健康科学理論	65	D	1	1	
異文化理解入門	60	D	1	2	
基礎統計学入門	50	F	0	2	

1年前期のGPAは、上表のGPと単位数により、以下のように計算します。

$$\frac{4 \times 3_A + 3 \times 9_B + 2 \times 8_C + 1 \times 3_D + 0 \times 2_F}{3_A + 9_B + 8_C + 3_D + 2_F} = 2.32$$

共通太郎君のGPAは、2.32（小数点以下第3位を四捨五入）になります。もし、A評価のキャリアデザインが評点0～59点でF評価であったら、GPは4から0に下がるため、再計算するとGPAは2.00に減少します。GPAは4から0までの間で、学習達成度を測る数値となります。GPAを4に近付けるように頑張りましょう。

なお、履修登録した全ての科目が計算の対象になり、履修を放棄するとF評価（GP：0）になりGPAは下がります。履修を放棄する場合は、取消期間内に必ず履修登録取消の手続きを行ってください。ただし、単位認定科目及び他大学等単位互換科目の成績評価はP（認定）で表し、GPA算出の対象外になります。



令和6年度入学生 共通教育科目卒業要件単位数(一般学生)(規則第7条関係)

科目枠組		必修科目									選択必修科目							合計単位数	
		初年次教育科目						グローバル教育科目			教養教育科目								
		初年次セミナーⅠ	初年次セミナーⅡ	大学と地域	体育・健康		情報活用	英語	異文化理解	教養基礎科目				教養活用科目					
					理論	実習				人文・社会科学分野	自然科学分野	統合Ⅰ(課題発見)		統合Ⅱ(課題解決)					
学部学科										必修科目単位数小計	初修外国語	選択科目	実験科目	選択科目	基礎教育入門科目		選択科目単位数小計		
法文	法経社会学科	2	2	2	1	1	2	4	2	16	4	2	-	4	-	4	14	30	
	人文学科	2	2	2	1	1	2	4	2	16	4	2	-	4	-	4	14	30	
教育	学校教育教員養成課程	初等教育コース	2	2	2	1	1	2	5	2	17	2	4	-	4	-	4	14	31
		中等教育コース(英語以外)	2	2	2	1	1	2	5	2	17	2	4	-	4	-	4	14	31
		中等教育コース(英語)	2	2	2	1	1	2	5	2	17	4	2	-	4	-	4	14	31
		特別支援教育コース	2	2	2	1	1	2	5	2	17	2	4	-	4	-	4	14	31
理	理学科	2	2	2	1	1	2	6	2	18	-	4	(4) (注8)	4	-	4	12	30	
医	医学科	2	2	2	1	1	2	4	2	16	-	4	-	2	-	4	10	26	
	保健学科(看護)	2	2	2	1	1	2	4	2	16	-	4	-	2	-	4	10	26	
	保健学科(理学療法)	2	2	2	1	1	2	4	2	16	-	6	-	2	4 (注1)	4	16	32	
	保健学科(作業療法)	2	2	2	1	1	2	4	2	16	-	6	-	4	2 (注2)	4	16	32	
歯	歯学科	2	2	2	1	1	2	4	2	16	2 (注3)	2	-	4	-	4	12	28	
工	先進工学科	2	2	2	1	1	2	6	2	18	-	4	-	2	2 (注4)	4	12	30	
	建築学科	2	2	2	1	1	2	6	2	18	-	4	-	2	2 (注4)	4	12	30	
農	農学科	2	2	2	1	1	2	6	2	18	-	4	-	4	-	4	12	30	
	国際食料資源学特別コース	農学系サブ	2	2	2	1	1	2	5	2	17	-	4	-	2	6 (注5)	4	16	33
水産		水産系サブ	2	2	2	1	1	2	5	2	17	-	4	-	2	6 (注5)	4	16	33
共同獣医	水産学科	2	2	2	1	1	2	5	2	17	-	4	(4) (注8)	-	10 (注6)	4	18	35	
	共同獣医学科	2	2	2	1	1	2	8	2	20	-	2 (注7)	-	2	-	4	8	28	
	畜産学科	2	2	2	1	1	2	6	2	18	-	4	-	4	-	4	12	30	

(注1) 基礎統計学入門(2単位)必修、基礎物理学入門(2単位)、基礎生物学入門(2単位)から1科目選択。ただし、物理学及び生物学に関しては受験時に選択しなかった科目を受講することが望ましい。

(注2) 基礎統計学入門、基礎数学入門、基礎物理学入門、基礎化学入門、基礎生物学入門の5科目から1科目選択

(注3) 初修外国語は独語又は仏語を修得する。

(注4) 基礎統計学入門(2単位)必修

(注5) 基礎生物学入門、基礎化学入門、基礎統計学入門を必修

(注6) 基礎生物学入門、基礎化学入門、基礎物理学入門、基礎数学入門、基礎統計学入門を必修

(注7) 共同獣医学科は導入系科目として、生命倫理学、コミュニケーション論を必修

(注8) 実験科目(4単位)については、共通教育科目の卒業要件単位数に含まれないが、中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)の免許状取得に必要な科目として、基礎物理学実験(1単位)、基礎化学実験(1単位)、基礎生命科学実験(1単位)及び基礎地学実験(1単位)を理学部、水産学部の学生を対象に開講する。(p.26参照)

## V 共通教育の教育科目と単位の取り方

本学の共通教育は、「必修科目」及び「選択必修科目」を大分類とし、「初年次教育科目」、「グローバル教育科目」、「日本語・日本事情科目」、「教養教育科目（教養基礎科目）」、「教養教育科目（教養活用科目）」の5つの中分類と17の小分類（以下の表を参照）に分類されています。

共通教育の分類表

大分類	中分類	小分類
必修科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ
		初年次セミナーⅡ 【注意1】
		大学と地域
		体育・健康（理論）
		体育・健康（実習）
		情報活用
	グローバル教育科目	英語
		異文化理解
	日本語・日本事情科目	日本語 【注意2】
		日本事情 【注意2】
選択必修科目	教養教育科目 （教養基礎科目）	人文・社会科学分野（初修外国語）
		人文・社会科学分野（選択科目）
		自然科学分野（実験科目）
		自然科学分野（選択科目）
		自然科学分野（基礎教育入門科目）
	教養教育科目 （教養活用科目）	統合Ⅰ（課題発見）
		統合Ⅱ（課題解決）
卒業要件外科目	学芸員資格科目	学芸員資格

【注意1】原則として一般学生を対象とする。

【注意2】原則として外国人留学生を対象とする。

## ○初年次教育科目 【必修科目】

### 〔1〕初年次セミナーⅠ

#### 1 内容

初年次セミナーⅠは、学術的なプレゼンテーションの作成を通して、大学で学ぶための基礎学力を身につけることを目的とする科目です。研究テーマの立案、文献の検索や資料の分析といった取り組みを実践的に体験します。プレゼンテーションについては、グループを組んで実施します。約35人程度の学部混成型クラス編成で、多様な興味・関心を持つ他者と協働で学ぶことを通じて、コミュニケーション能力を身につけるアクティブ・ラーニング型授業です。

大学での学習は、様々な問題の中から自ら課題を発見し、適切な情報を収集・精査して活用し、合理的な解決策を導き出していくことが求められます。この科目は、そのための基礎の基礎を育成する科目といえます。

まずは、大学での学びをより意義のあるものにするための力を養いましょう。

#### 2 単位の取り方

全学共通の必修科目です。受講するクラスが指定されますので、履修登録期間になりましたら、履修登録システム（「鹿児島大学ホームページ」→「在学生」→「教育関係各種システム」→「鹿児島大学学務系 portal サイト」）で事前に確認してください。

### 〔2〕初年次セミナーⅡ

#### 1 内容

初年次セミナーⅡは、論理的思考の基本を理解したうえで、学術文章の読み方と書き方のスキルを身につけることを目指す科目です。論理的思考は、大学生活だけでなく、社会生活においても必要になります。そして、学術文章のスキルも、大学でレポートや論文を読み書きする際に必要であるのはもちろんのこと、社会に出てからも様々な場面で生きる技術です。この授業では、実際に「論証型レポート」を執筆し、客観的事実や信頼性のある情報に基づいて自分の考えを述べるスキルを身につけます。

レポート作成の過程では、ピア活動を取り入れています。ピア(peer)とは同輩、仲間を意味する言葉で、ピア活動とは仲間同士で話し合いながら協働で学んでいくことを意味します。レポート作成において、文章を実際に書くのは個人です。しかし、実際に書き始める際には、自分の考えを整理したり、どのように表現したら良いかを考えたりすることが必要です。こうした過程を、ピア活動を通じて行うことにより、自分とは異なる視点から意見をもらうことで多面的な考え方を身につけていくことができます。

#### 2 単位の取り方

全学共通の必修科目です。受講するクラスが指定されますので、履修登録期間になりましたら、履修登録システムで事前に確認してください。

## 〔3〕 大学と地域

### 1 内容

鹿児島大学は「地域と共に歩む大学」として、地域に貢献する思いや能力を育む教育に取り組んでいます。学部横断的教育プログラムの枠組みである「地域人材育成プラットフォーム」(※)はこうした教育を体系化したものです。「大学と地域」は、この「地域人材育成プラットフォーム」の核となる授業であると同時に、鹿児島大学の全ての学生が学ぶべき必修科目となっています。

「大学と地域」では、鹿児島の様々なテーマを取り扱います。よって、鹿児島についてより詳しく「知る」ことができます。しかしながら、「大学と地域」は単に鹿児島を「知る」ことを目的とし、全学必修科目となっているわけではありません。鹿児島に関連するリアリティある事項を広く題材として取り扱うを通じ、大学で学ぶための基礎的な能力の獲得を目指します。具体的には、注目すべき地域の課題を発掘し、その解決案を提示しつつ、それについて他者と意見交換しながら、自ら論理的に思考する能力、多くの情報から重要なものを見極める能力、課題を発見し合理的な解決策の提案をする能力などを身につけます。

鹿児島大学は鹿児島に立地し、鹿児島に関連する資源や情報を最も身近に取り扱うことができる大学の1つです。興味深い歴史を有する地域であり、また南北600kmにも及ぶ県土を有している他、固有の自然環境や気象、動植物、食、生活習慣、文化等が特徴として挙げられます。鹿児島が誇る幅広い、また奥深い様々な題材を活用することは、鹿児島大学での学びをより豊かなものにしてくれるでしょう。

※地域人材育成プラットフォームの詳細は、別冊のパンフレットを参照してください。

### 2 単位の取り方

全学共通の必修科目です。受講するクラスが指定されますので、履修登録期間になりましたら、履修登録システムで事前に確認してください。

## 〔4〕 体育・健康

学生時代はもとより生涯にわたって充実した生活を行っていくためには、心身の健全な育成と健康が基礎となります。そのためには何に注意を払い、どのような営みを継続していくのがよいかについて次のような授業科目を設け、講義および実習を通じて学習します。この講義と実習は互いに関連が図られています。

### <1>理論

#### 1 内容

心身の基本的な機能やその適応能力について理解し、心身の育成や健康づくりのために重要な運動の行い方をはじめ、栄養や休養の取り方などのライフスタイルのあり方について講義します。

#### 2 単位の取り方

全学共通の必修科目です。なお、各学部の学科・課程等の単位でクラスが編成され、受講するクラスが指定されますので、履修登録期間になりましたら、履修登録システムで事前に確認してください。

卒業要件単位数 1 単位	体育・健康科学理論	全学部
-----------------	-----------	-----

### <2>実習

#### 1 内容

実習では、心身の育成や健康づくりに効果的な運動の行い方、それらの生活への取り入れ方などに関して実習します。

また、各自が年齢や身体の特徴に応じて運動を日常生活に取り入れ、生涯に渡って心身の育成や健康づくりの運動を実践できる能力を養うことを目的に、日常生活における身体活動の活用法や、新しく考案されたスポーツ（ニュースポーツ）を含めた多様なスポーツ種目について実習します。

#### 2 単位の取り方

全学共通の必修科目です。なお、各学部の学科・課程等の単位でクラスが編成され、受講するクラスが指定されますので、履修登録期間になりましたら、履修登録システムで事前に確認してください。

卒業要件単位数 1 単位	体育・健康科学実習	全学部
-----------------	-----------	-----

## 〔5〕情報活用

### 1 内容

「情報活用」は、近年急速に進んできている情報・デジタル化社会、さらには Society 5.0 に対して適応していくための基礎的知識と技能を身に付けることを目指す科目です。また「情報活用」は鹿児島大学が創設した教育プログラム名：「文理横断・数理データサイエンス AI 教育導入プログラム」の教育プログラム科目で、文部科学省所管の「数理データサイエンス AI 教育プログラム：リテラシーレベル」の認定を現在受けています<sup>注)</sup>。本科目を受講することで (1) 数理データサイエンス AI の技術によって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解し、そこから生み出される新たな価値を説明できる能力 (2) 膨大なデータの集積（ビックデータ）によって新たな雇用や産業分野が生じている現状を説明できる能力 (3) データの特徴を見出し、そこにある事象・背景・意味合いを説明できるとともに、その適切な分析手法を判断できる能力 を身に付けることができます。

各受講生の所属学部・学科等の教員が主に授業を担当し、PC の機能を活用するための基本的な知識・技術、PC を用いたプレゼンテーション技能、インターネットの適切な利用方法、情報セキュリティおよび数理データサイエンスに関する初歩的な技術などについて学修します。PC 教室で個別に PC を利用し、講義と演習を組合わせた形式で授業が行われます。必要に応じて大学院生のティーチング・アシスタント（TA）が皆さんの学修を支援します。また本学の学生全員に配付される鹿児島大学 ID により、本学在籍期間中、PC 教室の PC が自由に利用できます。利用の方法や利用上の注意などは、「XI 学生生活、〔2〕諸願・届及び注意事項、5 共通教育棟の施設の利用（PC の利用など）」（p. 59 参照）を参照してください。

### 2 単位の取り方

「情報活用」は 1 期（1 年前期）に開講される必修科目です。卒業するためには必ず修得しなければならない重要な科目であり、単位数は 2 単位です。1 期の授業時間割に記載されるように各学部の学科・専修等の単位でクラスが編成されます。曜日・時限を確認のうえ「情報活用」を履修してください。なお教員免許状取得希望者は、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（2 単位）」の科目を修得しておく必要がありますが、「情報活用」がこの科目に該当します。

注) 認定期間：令和 9 年 3 月 31 日まで

数理・データサイエンス・AI  
教育プログラム認定制度  
リテラシーレベル



MDASH  
Literacy  
Approved Program for Mathematics,  
Data science and AI Smart Higher Education



## ○グローバル教育科目 【必修科目】

### 〔1〕英語

#### 1 内容

多様な世界観の共存を認め合う社会が求められている現在、諸文化の人的交流や情報交換がますます必要になっています。そのようなグローバル化が進む社会の中で、外国語教育の学習目標は、諸言語によって表現された内容を、正確に理解し、その言語による表現能力を高め、諸文化と価値体系の多様性に対する理解を深め、自己の文化的基盤を自覚し、国際理解と国際交流の能力を養うことにあります。このような目標を見据えながら、共通教育における英語教育の基本的な目標は、各自の専門的学修のための基礎力を養成することとします。

この目標を達成するために、共通教育における英語科目として、1年次から2年次にかけて（1期から4期）、英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、英語Ⅲ、英語Ⅳの6科目を開講します（各1単位。学部・学科により卒業要件単位数が異なります）。

全学部・学科必修の1年次の1期と2期に開講される英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡBについて、その内容を簡単に記します。英語ⅠAと英語ⅡAは、いわゆる教養を念頭におきながら、主に読むこと、聞くことに焦点を当てた理解面の英語力を修得します。英語ⅠBは、一般的な学術に係る内容を吟味しながら、主に書くこと、英語ⅡBは、一般的な学術に係る内容を吟味しながら、主に話すことに焦点を当てた伝達面の英語力を修得します。1期では、英語ⅠAと英語ⅠBを組み合わせ開講し、英語の理解面と伝達面を活かしながら学びます。2期では、1期同様に、英語ⅡAと英語ⅡBを組み合わせ開講し、1期を土台として英語の運用力をさらに高めていきます。

このように英語ⅠA、英語ⅠB、並びに英語ⅡAと英語ⅡBで大学生としての英語コミュニケーション力の基礎を身に付けながら、その学習過程で、大学生としての自覚を育み、教養を深めながら、客観的な分析態度に基づく批判的思考力などを養います。

それらを学部・学科選択の英語Ⅲで応用し、学部・学科選択の英語Ⅳで発展させ、その後の学部・学科選択の専門英語などにおいて学術英語を中心に学部・学科での専門的学修への橋渡しとします。

#### 2 単位の取り方

全学部・学科必修の英語科目として、1期に英語ⅠA、英語ⅠB、2期に英語ⅡA、英語ⅡBを開講します。3期に英語Ⅲ、4期に英語Ⅳをそれぞれ開講します。各期の各科目、週一回の授業をもって1単位となります。3期以降は、学部・学科により卒業要件単位数が異なります。次の表を参照してください。



## グローバル教育科目(英語)

履修学年	1年次		2年次		共通教育卒業要件単位数
履修期	1期	2期	3期	4期	
科目名	英語ⅠA	英語ⅡA	英語Ⅲ ※動物基礎 英語	英語Ⅳ	
	英語ⅠB	英語ⅡB			
学部(学科)	単位数	単位数	単位数	単位数	
法文	2	2			4
教育	2	2	1		5
理	2	2	1	1	6
医(医)	2	2			4
医(保健)	2	2			4
歯	2	2			4
工(先進工学)	2	2	1	1	6
工(建築)	2	2	1	1	6
農(農)	2	2	1	1	6
農・水(国際食料資源)	2	2	1		5
水産(水産)	2	2	1		5
共同獣医(畜産)	2	2	2※		6

※共同獣医学部畜産学科の3期は、動物基礎英語。

※共同獣医学部共同獣医学科は別に定める。

### 習熟度別のクラス

英語の授業は、1期から4期に開講される科目（英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、英語Ⅲ、英語Ⅳ）が習熟度別クラス編成になります。どのクラスで授業を受けるかは、1期から4期それぞれの開始前に発表されます。

### 英語の再履修

やむを得ず英語を再履修しなければならなくなった場合は、不合格となった科目を、翌年度（以降）に、原則として同じ学部・学科の正規クラスで履修し直します。英語科目の再履修は、Web登録できませんので、履修申請期間内に、共通教育係窓口において履修登録手続きをしてください。



### 英語の外部試験

英語の授業では、全学1年次に2回（1期と2期）、英語の外部試験を実施します。授業や課外の予習、復習等を中心とする自学自習を行い、日頃から実力養成を図り、その取り組み結果を評価する目安のひとつとします。この試験結果は、学期ごとの成績評価の10%に反映させます。残りの90%は、試験等での評価となります。また、スコアレポート（個人成績表）によって、自己の英語力の状況が具体的に把握出来るので、以後の英語学習の貴重な指針としてください。

### 英語の技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定

「鹿児島大学共通教育科目履修規則」第12条の規定により、実用英語技能検定に合格した者、及びTOEIC、TOEFL、IELTS、ケンブリッジ英語検定において一定の成績を修めた者は、所定の手続きに従って申請すると、本学における授業を履修したものとして単位の認定を受けることができます。認定を受けようとする者は、「外国語技能審査合格者等の単位認定申請書」に必要事項を記入し、必ず学生証と検定試験の合格証書又は成績認定証を持参して共通教育係窓口に申請してください。なお、単位認定申請期間は、前期は4月の指定期間、後期は10月の指定期間とします。手続きの詳細及び単位認定の確認等に関しては、共通教育係の指示に従ってください。（p. 74参照）

## 〔2〕異文化理解

### 1 内容

現代はグローバル社会です。人・もの・情報などが国境を越えて行きかうグローバル社会に生きるということは、多文化が共存する社会に生きるということでもあります。文化的背景が異なる人々と共に生活していくには、私たちになじみのない異質なものを排除したり、自分たちの考え方や価値観を押し付けたりするのではなく、他者を認め、理解し、受け入れようとする寛容な精神と態度がとても重要になります。

世界には多種多様な文化が存在することを認識し、複眼的にものをみる力や判断する能力を獲得して、自文化を相対化しながら他者の文化を受容する姿勢を、これからの私たちは身に付けていかなくてはなりません。このような目標を達成するための第一歩となるのが「異文化理解入門」です。この授業では、テーマを「ドイツ語文化圏」「フランス語文化圏」「中国語文化圏」「韓国・朝鮮語文化圏」「イスラーム文化圏」の5つの文化圏に分け、それぞれの文化圏における言語的側面（あいさつや簡単な日常表現、言語の特徴など）や文化・社会的側面（人々の生活習慣や考え方・価値観、現代事情など）について、日本の言語文化や日本事情との比較を織り交ぜながら、各3回ずつのリレー形式で講義を行います。

### 2 単位の取り方

全学部2単位必修の授業で、週1回開講されます。工学部を除くすべての学部では1期に、工学部では3期に授業が開講されます（学部ごとに曜日・時限が指定されています）。単位を修得できなかった場合は、次年度に、自分が所属する学部・学科等のクラスで再履修しなければなりません。

## ○教養教育科目（教養基礎科目）【選択必修科目】

### 〔1〕人文・社会科学分野

#### <1>初修外国語

##### 1 内容

多様な世界観の共存を認め合う国際環境が求められている現在、諸文化間の人的交流や情報交換がますます必要になっています。外国語教育の目標は、諸言語によって表現された内容を正確に理解し、その言語による表現能力を高め、諸文化と価値体系の多様性に対する理解を深め、自己の文化的基盤を自覚し、国際理解と国際交流の能力を養うことにあります。このような目標を達成するため、1年次に初修外国語の基本的な文法や運用能力を修得する初級の授業が、2年次に初級で修得した能力を応用・発展させる中級の授業がそれぞれ開講されます。下記に初級と中級の単位の取り方について説明します。

##### 2 単位の取り方

###### 初級の授業

必修の初修外国語科目として、1期に「初級独語Ⅰ」「初級仏語Ⅰ」「初級中国語Ⅰ」「初級韓国語Ⅰ」（以下、「初級Ⅰ」）、2期に「初級独語Ⅱ」「初級仏語Ⅱ」「初級中国語Ⅱ」「初級韓国語Ⅱ」（以下、「初級Ⅱ」）が開講されます。いずれの初修外国語も「初級Ⅰ」及び「初級Ⅱ」は週2回の授業をもって2単位となります。ただし、歯学部で仏語を選択する学生に対しては、1期と2期に週1回「初級仏語Ⅰ」を開講し、通年で2単位となります。1期1単位・2期1単位のような単位の分割は行いませんので、注意してください。

学部・学科により卒業要件単位数が異なります。下の表を参照してください。

履修学年	1年次		必修 単位	受講可能な言語
	1期	2期		
履修期	科目名（単位数）			
学部等	科目名（単位数）			
法文学部	初級Ⅰ（2）	初級Ⅱ（2）	4	独・仏・中・韓
教育学部（中等教育コース英語科）	初級Ⅰ（2）	初級Ⅱ（2）	4	独・仏・中・韓
教育学部（上記を除くすべて）	初級Ⅰ（2）	初級Ⅱ（②）	2	独・仏・中・韓
歯学部（独語選択者）	初級Ⅰ（2）		2	独・仏
歯学部（仏語選択者）	初級Ⅰ（2）		2	

法文学部・教育学部（中等教育コース英語科）は「初級Ⅰ」2単位と「初級Ⅱ」2単位の計4単位が卒業・進級に必要な単位数です。この場合「初級Ⅰ」及び「初級Ⅱ」は言語を変えて履修することはできず、同一言語を履修して単位を取得しなければなりません。

教育学部（中等教育コース英語科）を除くすべての学生・歯学部は「初級Ⅰ」2単位が卒業・進級に必要な単位数です。

歯学部で選択できる初修外国語は、独語又は仏語のみです。歯学部以外は独語・仏語・中国語・韓国語から1言語を選択できます。なお、言語種によっては受講希望者が多数の場合、抽選により受講者数を制限することがあります。

2単位必修の学部・学科にあつては、2期の「初級Ⅱ」で修得した2単位を、人文・社会科学分野の「選択科目」の単位に含めることができます（上表の②で表示）。また、「初級Ⅱ」の2単位を必修である「初級Ⅰ」の単位に読み替えることもできます。なお、歯学部には「初級独語Ⅱ」「初級仏語Ⅱ」は開講されません。

### **中級の授業**

中級の授業科目として、3期に「中級独語A」「中級仏語A」「中級中国語A」「中級韓国語A」（以下、「中級A」）が、4期に「中級独語B」「中級仏語B」「中級中国語B」「中級韓国語B」（以下、「中級B」）が開講されます。「中級A」と「中級B」には難易度の差はありません。「中級A」も「中級B」も週1回の授業で1単位となり、この単位は人文・社会科学分野の「選択科目」の単位に含まれます。なお、中級の授業を受講できるのは、「初級Ⅰ」と「初級Ⅱ」の計4単位を修得した者又は同等の能力を持つ者に限られます。

### **技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定**

「鹿児島大学共通教育履修規則」第12条の規定により、ドイツ語技能検定試験、ゲーテ・インスティトゥート検定試験、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験、テスト・ダフ (TestDaf)、実用フランス語技能検定試験、フランス国民教育省・フランス語学力テスト (TCF)、フランス国民教育省・フランス語資格試験 (DELF/DALF)、中国語検定試験、漢語水平考試 (HSK)、ハングル能力検定試験、韓国語能力試験に合格した者は、所定の手続きに従って申請すると、本学における授業を履修したのものとして単位の認定を受けることができます。認定を受けようとする場合は、「外国語技能審査合格者等の単位認定申請書」に必要事項を記入し、必ず学生証と検定試験の合格証書又は成績認定証を持参して共通教育係窓口申請してください。なお、単位認定申請期間は、前期は4月の指定期間、後期は10月の指定期間とします。手続きの詳細及び単位認定の確認等に関しては、共通教育係の指示に従ってください。(p.74参照)

## < 2 > 選択科目

### 1 内容

教養教育科目において教養基礎科目は幅広い教養と高度な専門知識、及びこれらに基づいた論理的思考力を育む科目となります。

その中で人文科学は哲学・文学・史学・語学など広く人類の創造した文化を対象として研究する学問で、社会科学は人間の社会的行為と関連付けながら、社会生活・社会組織・社会問題などのしくみを明らかにしようとする学問です。これらの科目は人文・社会科学の各学問分野に属する科目として、人文・社会科学に関連する専門教育にも深く関わってくる科目です。

### 2 単位の取り方

卒業に必要な単位数については共通教育科目卒業要件単位数（p. 11 参照。ただし、外国人留学生は p. 35 を参照。）に示されていますので必要な単位数を確認後、下表に掲載されている科目を選択して履修してください。

また、選択科目における全学部対象の初修外国語科目として、1期及び2期に「中国語入門Ⅰ」、「韓国語入門Ⅰ」が、2期及び3期に「中国語入門Ⅱ」、「韓国語入門Ⅱ」が開講されます。また、「独語入門Ⅰ」は1期、「独語入門Ⅱ」は2期、「仏語入門Ⅰ」は2期、「仏語入門Ⅱ」は3期に開講されます。これらは週1回の授業をもって1単位です。初修外国語が必修の学生は、必修と同じ言語の入門科目を履修することはできませんので注意してください。

なお、言語種によっては受講希望者が多数の場合、抽選により受講者数を制限することがあります。

## ・ 開設授業科目一覧（令和6年度）

### < 前期 >

科目名	単位	備考
アメーバ経営	2	
医学・行動心理学入門	2	
稲盛和夫の経営哲学（Ⅰ）	2	
稲盛和夫のベンチャー企業論	2	
鹿児島探訪－歴史－	2	地域志向科目※1
韓国語入門Ⅰ	1	
韓国語入門Ⅱ	1	
教育社会学入門	2	
現代の日本政治	2	
行動科学	2	
古代東アジアの王陵	2	
自然学校へ行こう	2	地域志向科目※1
自然学校へ行こう 実践編Ⅰ	2	地域志向科目※1
実験医学・行動心理学	2	
障害児教育入門	2	

科目名	単位	備考
貞観政要を読むー帝王学入門ー	2	
中国語入門Ⅰ	1	
中国語入門Ⅱ	1	
独語入門Ⅰ	1	
文化人類学の世界	2	
方言コンテンツを作ろう	2	地域志向科目※1
日本国憲法	2	
人間と環境の心理学	2	
How Language and Music Influences Society	2	
美術への誘い	2	
簿記入門	2	

### <後期>

科目名	単位	備考
アメーバ経営	2	
稲盛和夫の経営哲学（Ⅱ）	2	
大人になるための政治学	2	
鹿児島探訪ー歴史ー	2	地域志向科目※1
韓国語入門Ⅰ	1	
韓国語入門Ⅱ	1	
「起業」ービジネスの発見と創出	2	地域志向科目※1
グローバル人材育成（雲南）	2	海外研修科目※2
現代社会を考える	2	
現代哲学入門	2	
行動科学	2	
コーポレート・ファイナンス	2	
自然学校へ行こう 実践編Ⅱ	2	地域志向科目※1
障害児教育入門	2	
戦後日本外交史	2	
地域ブランドを学ぶ	2	地域志向科目※1
中国語入門Ⅰ	1	
中国語入門Ⅱ	1	
中国文学の世界	2	
独語入門Ⅱ	1	
日本国憲法	2	
方言学入門	2	地域志向科目※1
陽明学入門	2	
知的財産制度の基礎	2	

※1 地域志向科目については、p. 3をご参照ください。

※2 海外研修科目は渡航先の状況によっては開講しない場合があります。

## 〔2〕自然科学分野

### <1>教育職員免許状取得に係る実験科目

#### 1 内容

共通教育科目の卒業要件単位数に含まれませんが、中学校教諭一種免許状（理科）、高等学校教諭一種免許状（理科）の免許状授与の資格を取得するために必要な科目として、教育職員免許法施行規則に定める「教科に関する専門的事項」の実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験）の単位を修得しなければなりません。理科の教育職員免許状取得希望者は、共通教育センターで開講される以下の実験科目を履修してください。

#### 2 単位の取り方

学部	免許状の学校種	授業科目	単 位	履修方法	免許状取得に 必要な単位数
理学部 <sup>※1</sup> 水産学部 <sup>※2</sup>	中学校教諭一種 免許状（理科）	基礎物理学実験	1	必修	4
		基礎化学実験	1		
		基礎生命科学実験	1		
		基礎地学実験	1		
	高等学校教諭一種 免許状（理科）	基礎物理学実験	1	1科目以上 選択	1以上
		基礎化学実験	1		
		基礎生命科学実験	1		
		基礎地学実験	1		

※1 理学部生は、所属するプログラムで開講する実験科目を優先して履修すること。

詳細については専門科目の履修の手引きを必ず確認すること。

※2 国際食料資源学特別コースは除く。

#### 3 履修学年

授業科目	履修学年
基礎物理学実験	2年次
基礎化学実験	2年次
基礎生命科学実験	2年次
基礎地学実験	2年次

指定された学年で履修できない場合は、4年次前期までに履修することができます。

開講時期については、入学時に掲示等にてお知らせします。



## < 2 > 選択科目

### 1 内容

自然科学の選択科目は、数学、物理学、化学、生物学等の学問分野科目となります。これらの科目は、自然科学に関連する専門教育にも深く関わってくる科目です。

### 2 単位の取り方

卒業に必要な単位数については共通教育科目卒業要件単位数（p. 11 参照。ただし、外国人留学生は p. 35 を参照。）に示されていますので必要な単位数を確認後、下表に掲載されている科目を選択して履修してください。

## ・開設授業科目一覧（令和6年度）

### <前期>

科目名	単位	備考
遺伝のしくみ	2	
ウイルスとヒトの病気	2	
宇宙のすがた	2	
鹿児島 of 自然史	2	
教養線形代数学	2	
教養の物理学入門	2	
初心者のためのサバイバル生物学	2	
焼酎	2	地域志向科目※
生物学入門	2	
地震と火山を学ぶ	2	
天体観測と科学・技術	2	
動物の病気	2	
脳と心の生物学	2	
ヒトの産み育てを考える	2	

### <後期>

科目名	単位	備考
遊び心と科学	2	
化学と環境	2	
家畜の歴史	2	
健康管理	2	
焼酎	2	地域志向科目※
情報セキュリティ入門	2	
食品・化粧品・医薬品の有機化学	2	
世界を変えた有機分子	2	
くらしの化学	2	

科目名	単位	備考
電気電子工学入門	2	
動物心理学入門	2	
動物の感覚・脳・行動	2	
保健学入門	2	
データサイエンスのための教養統計学	2	

※地域志向科目については、p. 3をご参照ください。

### < 3 > 基礎教育入門科目

#### 1 内容

基礎教育入門科目は高校において自然科学の諸分野（数学・物理学・化学・生物学等）を履修していない、あるいは、十分な学習をしていない学生を対象に、大学の理系学部における専門教育を学んでいくうえで必要な知識や理解を修得することを目的とした科目となります。

#### 2 単位の取り方

基礎教育入門科目は理系学部の卒業に必要な科目として開講されます。卒業に必要な単位数については共通教育科目卒業要件単位数（p. 11 参照。ただし、外国人留学生は p. 35 を参照。）に示されていますので必要な単位数を確認後、下表に掲載されている学部(学科等)指定の科目を選択して履修してください。また、卒業要件となっていない学部学科等の学生は受講できませんので、注意してください。

#### ・ 開設授業科目一覧（令和6年度）

学部	学科等		授業科目	開講期	単位	履修方法	卒業に必要な単位数
医学部	保健学科 (理学療法学専攻)		基礎統計学入門	後期	2	必修	2
			基礎物理学入門	後期	2	1科目選択 (注)	2
			基礎生物学入門	前期	2		
	保健学科 (作業療法学専攻)		基礎数学入門	前期	2	1科目選択	2
			基礎化学入門	前期	2		
			基礎生物学入門	前期	2		
			基礎物理学入門	後期	2		
			基礎統計学入門	後期	2		
	工学部	先進工学科 建築学科		基礎統計学入門	前期	2	必修
農学部	国際食料 資源学特 別コース	農学系サブ	基礎統計学入門	前期	2	3科目必修	6
			基礎化学入門	後期	2		
		水産系サブ	基礎生物学入門	後期	2		
水産学部	水産学科		基礎数学入門	前期	2	5科目必修	10
			基礎統計学入門	前期	2		
			基礎物理学入門	前期	2		
			基礎化学入門	後期	2		
			基礎生物学入門	後期	2		

(注) 受験時に選択しなかった科目を選択することが望ましい。

## ○教養教育科目（教養活用科目）【選択必修科目】

### 〔1〕統合Ⅰ（課題発見）

#### 1 内容

教養教育科目の教養活用科目は、自ら課題を発見・探究・解決する能力を育成する実践的な科目となります。その中で教養基礎科目にて学んだ人文・社会科学および自然科学で得た知識をもとに地域社会や環境問題等、現代社会が抱える諸問題について理解を深めて課題発見を目指す科目が統合Ⅰ（課題発見）となります。

#### 2 単位の取り方

各学部とも統合Ⅰと統合Ⅱを合わせて4単位を取得する必要がありますので、統合Ⅰの科目のみで4単位を修得しても問題はありません。しかし、位置付けとしては統合Ⅰで発見した課題を統合Ⅱで解決をすることを目指していますので、統合Ⅰ・統合Ⅱの科目を2単位ずつ修得することが望ましい単位の取り方になります。

#### ・開設授業科目一覧（令和6年度）

##### <前期>

科目名	単位	備考
稲盛哲学：稲盛研究の最高峰が伝授	2	
いのちと地域を守る防災学Ⅰ	2	地域志向科目※1
Intercultural Understanding and Acceptance	2	
キャリアデザイン	2	
キャリアデザイン（集中）	2	
九州・沖縄学(歴史・文化)	2	
自然体験活動入門講座	2	
進取の精神を学ぶ	2	
大学で学ぶ	2	
地域コミュニティ論	2	地域志向科目※1
地域防災学実践	2	地域志向科目※1
倫理学入門	2	

##### <後期>

科目名	単位	備考
Intercultural Communication for Global Citizens	2	地域志向科目※1
キャリアデザイン	2	
九州・沖縄学（自然）	2	
手話入門	2	
人生における出会いの意義と役割	2	
地域リサーチ・スタートアップ	2	

科目名	単位	備考
防災フィールドワーク	2	
身近な話題の生物学	2	
身の周りの男女共同参画	2	

※1 地域志向科目については、p. 3をご参照ください。

※2 海外研修科目は渡航先の状況によっては開講しない場合があります。

## 〔2〕統合Ⅱ（課題解決）

### 1 内容

統合Ⅰにて学習した現代社会が抱える諸問題についての内容を踏まえて、実際に課題解決を試みる科目が統合Ⅱ（課題解決）となります。

### 2 単位の取り方

各学部とも統合Ⅰと統合Ⅱを合わせて4単位を取得することが必要になっていますので、統合Ⅱの科目のみで4単位を修得しても問題はありません。（p. 30の単位の取り方を参照）

### ・開設授業科目一覧（令和6年度）

#### <前期>

科目名	単位	備考
奄美の民俗文化	2	地域志向科目※1
稲盛和夫のリーダー論	2	
鹿児島探訪－文化－	2	地域志向科目※1
価値創造の場	2	
環境と進化の科学	2	
がんはなぜおこるのか：がんと共生	2	
口と顔の科学	2	
最先端医療を創出するバイオ研究	2	
自然学校実務研修Ⅰ	2	地域志向科目※1
島のしくみ	2	地域志向科目※1
進取の精神海外研修 in ベトナム	2	海外研修科目※2
地域環境論	2	
農家民泊体験講座	2	地域志向科目※1
ヒトの身体の仕組みと働き	2	
ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅰ	2	
避難生活に備える	2	地域志向科目※1
南太平洋多島域	2	
屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	2	地域志向科目※1
屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	2	地域志向科目※1
屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	2	地域志向科目※1

科目名	単位	備考
有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	2	地域志向科目※1

### <後期>

科目名	単位	備考
奄美の民俗文化	2	地域志向科目※1
医学・脳科学入門	2	
いのちと地域を守る防災学Ⅱ	2	地域志向科目※1
宇宙・地球における計測・計量	2	
海外異文化体験実習（台湾研修）	2	海外研修科目※2 地域志向科目※1
口と顔の科学	2	
国際感覚を持つバイテク人材育成	2	海外研修科目※2
自己理解・他者理解と障害理解	2	
自然学校実務研修Ⅱ	2	地域志向科目※1
自然環境保全と世界遺産	2	地域志向科目※1
実験医学・脳科学	2	
派遣留学ラップアップセミナー	1	
ピアカウンセリング入門	2	
ヒトの病気の成り立ちと予防Ⅱ	2	
森・ひと・体験	2	
屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	2	地域志向科目※1
留学生のための異文化理解	2	

※1 地域志向科目については、p. 3をご参照ください。

※2 海外研修科目は渡航先の状況によっては開講しない場合があります。

## VI 外国人留学生のための科目の概要と単位の取り方

### 〔1〕日本語・日本事情科目

#### 1 学習目標

日本語・日本事情科目は、外国人留学生を対象として、日本文化と日本社会に対する理解を深め、大学において学業を遂行するに十分な日本語能力をつけることを目標にして開講しています。

#### 2 内容

##### 日本語

大学生活に必要な日本語の4技能「話す・聞く・読む・書く」の運用能力を養う目的で日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ、日本語Ⅳの4科目を開講しています。

各科目、授業時間30時間と予習・復習15時間で1単位です。

##### 日本事情

日本事情A、日本事情Bの2科目を開講しています。各科目、授業時間30時間と予習・復習60時間で2単位です。

日本社会で生活していく上での必要な知識、異文化理解の考え方などを学習するほか、「防災」「鹿児島」「心理」などについて、各分野の専門家から学びます。

#### 3 単位の取り方

外国人留学生は日本語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4科目4単位と日本事情A、Bの2科目4単位を必ず修得しなければなりません。日本事情として修得した単位は教養基礎科目「人文・社会科学分野」、又は教養活用科目「統合Ⅰ・統合Ⅱ」の単位に読み替えることができます。

日本語・日本事情科目の開講期は下の表のとおりです。

#### 日本語・日本事情科目の開講期

<日本語科目>

1期（1年：前期）	2期（1年：後期）	
	第3ターム	第4ターム
日本語Ⅰ、日本語Ⅱ	日本語Ⅲ	日本語Ⅳ

<日本事情科目>

1期（1年：前期）	2期（1年：後期）
日本事情A	日本事情B

## 〔2〕外国人留学生の単位の取り方

外国人留学生の各学部・学科ごとの卒業要件単位数はp. 35のとおりです。日本人学生と同じように「初年次教育科目」「グローバル教育科目」を履修しなければなりません。ただし、外国人留学生は「初年次教育科目」の「初年次セミナーⅡ」は受講しません。

日本語・日本事情科目は外国人留学生には必修科目です。

※共同獣医学部共同獣医学科の外国人留学生の場合、単位の取り方は日本人学生と同じです。そのため、日本語・日本事情科目は必修ではありません。単位を修得しても卒業要件にならない自由科目となりますが、外国人留学生にとって日本語・日本事情科目は履修することが望ましい授業科目です。

### 1 教養基礎科目、教養活用科目と日本事情科目の読み替え

日本事情科目の単位を教養基礎科目「人文・社会科学分野」、又は教養活用科目「統合Ⅰ・統合Ⅱ」の単位に読み替えることができます。読み替えの際、日本事情科目の4単位をどの選択科目として読み替えるかは、自分で決めることができます。

### 2 外国語について

「グローバル教育科目」の「英語」は必修科目です。ただし、TOEIC、TOEFL、IELTS、ケンブリッジ英語検定などの検定試験を受け、その得点が一定の基準を超えている場合は、その得点に応じて英語の単位が認定されます。得点と認定される単位数についてはp. 74「鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則」に書いてあります。単位認定を希望する場合は、決められた期間内に申請を行ってください。

また、初修外国語を選択必修科目としている学部・学科であっても、外国人留学生の場合は、定められた英語の単位数を修得すれば、卒業要件が満たされます。

### よくある質問

#### Q1 日本語・日本事情科目は、どのように履修登録すればよいですか？

日本語・日本事情科目は、英語科目、初年次セミナーなどと同じく、既に登録されているので学生が自分で登録する必要はありません。

#### Q2 3、4年生になってから、日本語・日本事情科目を履修してもいいでしょうか？

日本語・日本事情科目は、全学部の留学生が履修できるような時間帯に授業があります。3、4年生になると、専門科目の授業が多くなっていくので、日本語・日本事情の授業時間と重なってしまうことがあります。できるだけ1年生のうちに履修しましょう。p. 33の表「日本語・日本事情科目の開講期」を参照してください。



令和6年度入学生 共通教育科目卒業要件単位数(外国人留学生)(規則第7条関係)

科目枠組		必修科目										選択必修科目							必修科目単位数小計	選択科目単位数小計	合計単位数
		初年次教育科目					グローバル教育科目		日本語・日本事情			教養教育科目									
		初年次セミナーⅠ	初年次セミナーⅡ	大学と地域	体育・健康		情報活用	英語	異文化理解	日本語	日本事情	教養基礎科目				教養活用科目					
					理論	実習						人文・社会科学		自然科学分野		統合Ⅰ(課題発見)	統合Ⅱ(課題解決)				
学部学科											初修外国語	選択科目	実験科目	選択科目	基礎教育						
法文	法経社会学科	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	4	-	4	12	30	
	人文学科	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	4	-	4	12	30	
教育	学校教育教員養成課程	2	-	2	1	1	2	5	2	4 (注2)	(4)	19	-	4	-	4	-	4	12	31	
理	理学科	2	-	2	1	1	2	6	2	4 (注2)	(4)	20	-	4	(4) (注10)	4	-	4	12	32	
医	医学科	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	2	-	4	10	28	
	保健学科(看護)	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	2	-	4	10	28	
	保健学科(理学療法)	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	2	4 (注3)	4	14	32	
	保健学科(作業療法)	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	4	2 (注4)	4	14	32	
歯	歯学科	2	-	2	1	1	2	4	2	4	(4)	18	-	4	-	4	-	4	12	30	
工	先進工学科	2	-	2	1	1	2	6	2	4 (注2)	(4)	20	-	4	-	2	2 (注5)	4	12	32	
	建築学科	2	-	2	1	1	2	6	2	4 (注2)	(4)	20	-	4	-	2	2 (注5)	4	12	32	
農	農学科	2	-	2	1	1	2	6	2	4 (注2)	(4)	20	-	4	-	4	-	4	12	32	
	国際食料資源学特別コース	農学系サブ	2	-	2	1	1	2	5	2	4 (注2)	(4)	19	-	4	-	2	6 (注6)	4	16	35
水産	水産系サブ	2	-	2	1	1	2	5	2	4 (注2)	(4)	19	-	4	-	2	6 (注6)	4	16	35	
	水産学科	2	-	2	1	1	2	5	2	4 (注2)	(4)	19	-	4	(4) (注10)	-	10 (注7)	4	18	37	
共同獣医	共同獣医学科	2	2	2	1	1	2	8	2	-	-	20	-	2 (注8)	-	2	-	4	8	28	
	畜産学科	2	-	2	1	1	2	6	2	4 (注2)	(4)	20	-	4	-	4	-	4	12	32	

(注1) 日本事情(4単位)は、人文・社会科学分野(選択科目)または、教養活用科目(統合Ⅰ・統合Ⅱ)の単位に読み替えることができる。

(注2) 日本語(4単位)は、履修申請単位数の上限枠に含まれない。

(注3) 基礎統計学入門(2単位)必修、基礎物理学入門(2単位)、基礎生物学入門(2単位)から1科目選択。ただし、物理学及び生物学に関しては受験時に選択しなかった科目を受講することが望ましい。

(注4) 基礎統計学入門、基礎数学入門、基礎物理学入門、基礎化学入門、基礎生物学入門の5科目から1科目選択

(注5) 基礎統計学入門(2単位)必修

(注6) 基礎生物学入門、基礎化学入門、基礎統計学入門を必修

(注7) 基礎生物学入門、基礎化学入門、基礎物理学入門、基礎数学入門、基礎統計学入門を必修

(注8) 共同獣医学科は導入系科目として、生命倫理学、コミュニケーション論を必修

(注9) 英語母語話者の場合、日本語又は初修外国語を修得することで、英語の単位を修得したものとして読み替えることができる。ただし、教育職員免許状の取得を目指す者は除く。

(注10) 実験科目(4単位)については、共通教育科目の卒業要件単位数に含まれないが、中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)の免許状取得に必要な科目として、基礎物理学実験(1単位)、基礎化学実験(1単位)、基礎生命科学実験(1単位)及び基礎地学実験(1単位)を理学部、水産学部の学生を対象に開講する。(p.26参照)

## Ⅶ 履修手続きをする前に知っておくこと

### 〔1〕入学前に修得した単位の認定

「鹿児島大学共通教育科目履修規則」第11条の規定（p.63参照）により、大学又は短期大学を卒業又は中途退学し、新たに本学の1年次に入学した学生の既修得単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがあります。

共通教育科目の既修得単位認定を希望する学生は、共通教育係で所定の手続きを取ってください。

### 〔2〕技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定

p.19、p.22、p.74を参照してください。

### 〔3〕教員免許状の取得

本学では、法文・教育・理・工・農・水産の各学部で、教育職員免許状（以下「教員免許状」と略称）を取得することができます。教員免許状には、いくつもの種類があります。自分が所属する学部・学科では、どのような種類の教員免許状が取得できるかを確認し、取得する教員免許状の種類を決めておく必要があります。

教員免許状を取得できる種類、取得のために必要な科目・単位数などについては、所属学部の学生担当窓口に尋ねてください。教員免許状を取得するために必要な科目の中には、「日本国憲法」、「実験」などの共通教育科目も含まれます。共通教育科目について、所属学部の学生担当窓口尋ねてください。

### 〔4〕学芸員資格の取得

本学では、法文・教育・理・水産（国際食料資源学特別コース（農・水）を除く）の各学部で学芸員の資格を取得することができます。

資格を取得するために必要な科目・単位数などについては、所属学部の学生担当窓口尋ねてください。

また、資格を取得するために必要な科目の一部（下記の表参照）を共通教育センターで開講していますが、卒業要件単位数には含まれませんので注意してください。（詳細はシラバス（学芸員資格科目）を参照）

科目名	単位	科目名	単位
生涯学習概論	2	博物館資料保存論	2
博物館概論	2	博物館展示論	2
博物館経営論	2	博物館教育論	2
博物館資料論	2	博物館情報・メディア論	2

## 〔5〕 高度共通教育科目

「高度共通教育科目」は、2年次以上の学生を対象として開講されるものです。共通教育センターが開講しますが、卒業要件上は共通教育ではなく、専門教育の単位となります。しかし、卒業要件上認められる単位数は学部によって異なるので、必ず受講前に所属学部の学生担当窓口で確認してください。

なお、「高度共通教育科目」は全て「地域人材育成プラットフォーム」の構成科目です。「地域人材育成プラットフォーム」は地域で活躍する人材の育成を目的とした学部横断型の枠組みで、「かごしまキャリア教育プログラム」「かごしま地域リサーチ・プログラム」「かごしまグローバル教育プログラム」の3つから成ります。各プログラムの「プログラム・コア科目」「プログラム・スキル科目」「実地体験事前演習」「実地体験」「プログラム修了演習」が「高度共通教育科目」に当たります。

「地域人材育成プラットフォーム」に関心を持った人は、詳細をパンフレット等で確認してください。

### ・開設授業科目一覧（令和6年度）

科目名	単位	プログラム	科目区分
社会人基礎力演習	2	かごしまキャリア教育プログラム	プログラム・コア科目
チャレンジ・ビジネス1	2	かごしまキャリア教育プログラム	プログラム・スキル科目
チャレンジ・ビジネス2	2	かごしまキャリア教育プログラム	プログラム・スキル科目
地域キャリア・インターンシップ事前演習	1	かごしまキャリア教育プログラム	実地体験事前演習
地域キャリア実習	2	かごしまキャリア教育プログラム	実地体験
地域キャリア・インターンシップ	2	かごしまキャリア教育プログラム	実地体験
地域キャリア修了演習	1	かごしまキャリア教育プログラム	プログラム修了演習
地域リサーチ・トライアル	2	かごしま地域リサーチ・プログラム	プログラム・コア科目
大隅フィールドワーク講座	2	かごしま地域リサーチ・プログラム	プログラム・スキル科目
地域リサーチ実習事前演習	1	かごしま地域リサーチ・プログラム	実地体験事前演習
地域リサーチ実習	2	かごしま地域リサーチ・プログラム	実地体験
地域リサーチ修了演習	1	かごしま地域リサーチ・プログラム	プログラム修了演習
Confronting Kagoshima Regional Issues	2	かごしまグローバル教育プログラム	プログラム・コア科目

科目名	単位	プログラム	科目区分
海外インターンシップ	2	かごしまキャリア教育プログラム／かごしまグローバル教育プログラム	プログラム・スキル科目
Kagoshima de SDGs I (Lecture)	1	かごしまキャリア教育プログラム／かごしまグローバル教育プログラム	プログラム・スキル科目
Kagoshima de SDGs II (Field Study)	1	かごしまキャリア教育プログラム／かごしまグローバル教育プログラム	プログラム・スキル科目
Sustainable Development Goals and Their Impact on Society	2	かごしまグローバル教育プログラム	プログラム・スキル科目
Basic Statistics	2	かごしまグローバル教育プログラム	プログラム・スキル科目
地域防災演習	2	かごしま地域リサーチ・プログラム／かごしまキャリア教育プログラム	プログラム・スキル科目
Preparatory Seminar for Overseas Study	1	かごしまグローバル教育プログラム	実地体験事前演習
Study Abroad at Allied Universities	2	かごしまグローバル教育プログラム	実地体験
グローバル実地研修	2	かごしまグローバル教育プログラム	実地体験
Completion Seminar for Overseas Study	1	かごしまグローバル教育プログラム	プログラム修了演習

## VIII 履 修 手 続

### 〔1〕 シラバス

授業科目ごとに担当教員名、授業概要、授業計画、成績評価基準、教科書などを詳しく記載したものをシラバスといいます。履修申請日までに、シラバス、共通教育履修案内等をよく読んで予め自分が受講したい授業を厳選しておいてください。シラバスは、インターネットにつながったPC又はスマートフォンであれば、どこからでも閲覧できます。次の順にアクセスしてください。

#### シラバスの閲覧要領

- ①「鹿児島大学」トップページにアクセスし、「教育・学生生活」→「教育活動」→「鹿児島大学シラバス」→「開設部局」で[共通教育センター]を選択し、検索ボタンをクリックします。
- ②「共通教育科目一覧」が表示されるので、科目名等の入力欄に検索キーワードを入力し、検索ボタンをクリックします。  
※科目名の一部を入力しても検索できます。
- ③検索キーワードに一致する科目情報が表示されるので、シラバス欄に表記されているアイコンをクリックします。

### 〔2〕 履修計画

p. 11の卒業要件単位数を満たすためには、各期に、科目区分ごとに、何単位を修得していけばよいのか、「シラバス」及び4期までの「授業時間割表」も参照しながら、履修計画を立てることが大切です。また、2年次になってから開講される科目については、「授業時間割表」に記載されている科目以外に、若干の追加開設を予定しています。なお、変更する場合もあるので注意してください。

履修は、「授業時間割表」と「開設授業科目表」をよく参照して計画してください。また、開設授業科目表の中には受講対象「学部・学科・学年等」が指定されているものもあります。

なお、選択必修科目は「授業時間割表」に記載されていないものもありますので、当該期の「開設授業科目表」をよく参照してください。

### 〔3〕 履修申請

#### 申請日

履修申請は、「共通教育行事予定表」で指定された期日に行われます。

「共通教育行事予定表」や履修方法などの詳細事項は、共通教育掲示板（p. 79参照）などで知らせます。また、専門教育科目の申請日時が異なる場合がありますので注意してください。

## 申請方法

履修科目の申請は、インターネットを利用して行います。指定された期日であれば、みなさんはインターネットにつながったPC又はスマートフォンで、どこからでも鹿児島大学の履修登録システムにアクセスして、履修科目の申請ができます。

## 履修申請時に用意しておくもの

「令和6年度入学生 共通教育履修案内」・・・この冊子です。

「開設授業科目表」・・・受講対象や受講制限、選択必修科目などが確認できます。

「新入生オリエンテーション資料（共通教育）」・・・履修申請要領が記載されています。

「鹿児島大学IDパスワード設定コード通知書」

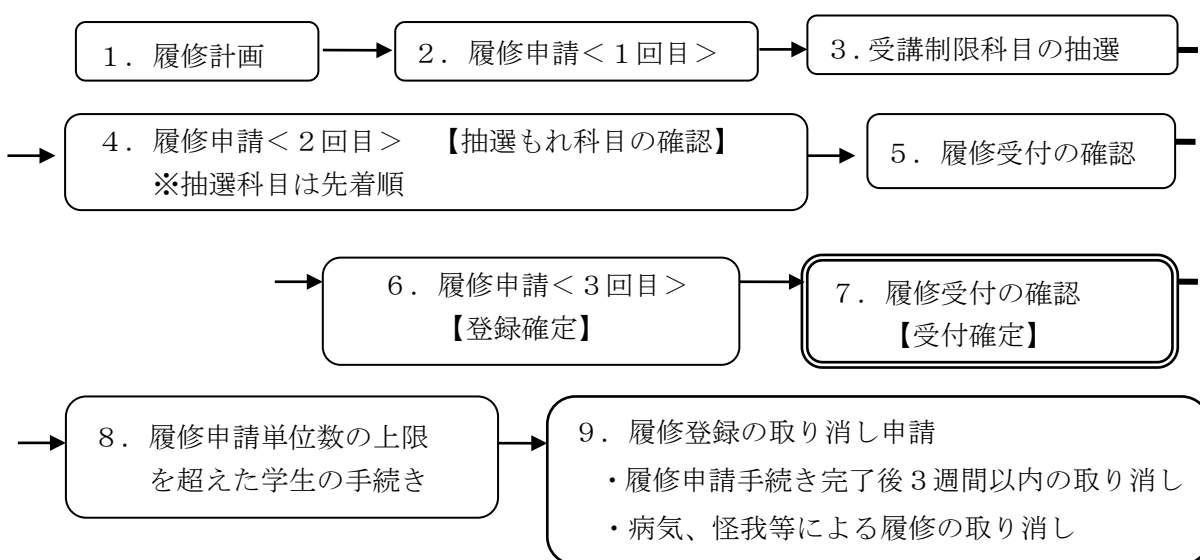
「履修申請表（ワークシート）」

## 集中講義

夏季休業中などに、集中講義を開講します。開講する科目、履修申請については掲示板及び大学ホームページで知らせますので、履修希望者は掲示に注意してください。なお、履修申請単位数の上限には含まれません。

## 〔4〕履修手続きの流れ

履修手続きは、下図のような流れになります。それぞれの項目について詳細な説明がありますのでよく読んでください。



## 1 履修計画

「共通教育履修案内」、「シラバス」、「開設授業科目表」を参考にして履修計画を立て、申請する授業科目を履修申請表（ワークシート）に記入してください。Web入力のための下書きになります。

共通教育科目の単位の取り方は複雑です。「V 共通教育の教育科目と単位の取り方」を必ず熟読してください。（p. 12～p. 32参照。ただし、外国人留学生はp. 33～p. 35を参照）

### 履修計画の立て方

#### ① 授業時間割表の確認

各学部・学科で、共通教育科目が開講される時間帯が異なります。「共通教育履修案内」に掲載している「令和6年度入学生授業時間割表」を参照して、どの時間帯にどの科目が開講されているのか確認してください。なお、授業時間割表に記載のない選択必修科目などは「開設授業科目表」を参考にして履修計画を立ててください。

#### ② 必修科目の確認

「初年次セミナーⅠ」、「初年次セミナーⅡ」、「体育・健康」、「情報活用」、「英語」、「異文化理解」は、あらかじめ授業クラスが割り当てられています。開設授業科目表又は履修登録システムで担当教員、時間割コードを確認してください。割り当てられた授業クラス以外での受講は原則として認められません。

#### ③ 選択必修科目の確認

教養教育科目で卒業に必要な科目として指定されていない科目は、自分でどの講義を受講するかを選択することができます。シラバスを参考にして、受講したい科目を選択してください。ただし、共通教育ではGPA制度を導入していますので、選択必修科目を履修し、もし単位を修得できなかった場合は、その科目の評価F（＝0点）がGPAを算出する際にその数値を下げる要因になります。したがって、安易な履修登録はGPAに悪影響を及ぼします。すなわち、選択必修科目でも履修すれば必修科目と同じ重みを持ちますので、真剣に取り組んでください。

## 2 履修申請＜1回目＞

履修科目の申請は、PC又はスマートフォンから履修登録システムにアクセスして行います。受講制限科目（受講許可申請が別途必要なものを除く）は、この時点では申請どおり受け付けます。担当教員の受講許可申請が必要な科目については、掲示等に注意してください。履修登録の方法については、入学時に配付される「新入生オリエンテーション資料（共通教育）」を参照してください。

## 3 受講制限科目の抽選

履修申請終了後、受講人数の上限を超過した授業科目はコンピュータによる無作為抽選を行います。

### 受講制限を行う授業科目

講義室や実験室等の収容定員や授業の内容により、受講制限をせざるを得ない場合があります。受講制限の内容については、当該期の「開設授業科目表」を参照してください。



抽選もれとなった場合、その科目の登録は自動的に無効となります。履修申請日<2・3回目>に追加登録できますが、履修登録は先着順となり、定員に達すると登録が打ち切られます。

授業科目によっては、担当教員の受講許可が必要な場合があります。それらについては、当該期の「開設授業科目表」や掲示板などを参照してください。

#### **4 履修申請<2回目>【抽選もれ科目の確認】**

PC又はスマートフォンから履修登録システムにアクセスして、抽選もれ科目がないか必ず確認してください。抽選結果に応じて、履修科目を変更することができます。

#### **5 履修受付の確認**

授業開始までに学務Webシステムに抽選結果や履修規則違反等の情報を反映させた履修受付確認表を公開します。例年、授業クラスの間違いや登録したつもりなのに実際は登録されていなかったということが多々ありますので、学務Webシステムの登録内容に誤りがないか必ず確認してください。

(履修受付確認は、履修登録システムではなく、学務Webシステムで確認してください。)

#### **6 履修申請<3回目>【登録確定】**

授業開始後に、履修申請を変更する機会が1回だけ与えられ、その後の変更は、原則として認められません。履修申請を変更した際は、登録内容に誤りがないか必ず確認してください。また、新たな科目を追加する場合は、履修申請単位数の上限を超えないように注意してください。

#### **7 履修受付の確認【受付確定】**

3回目の履修申請日以降、再び学務Webシステムで、履修違反等の情報を反映させた履修受付確認表を公開します。未登録科目及び履修申請単位数の上限を超えた単位は一切認められませんので注意してください。万が一、誤りがあれば、共通教育係に相談してください。履修申請単位数の超過などの特別な場合を除き、履修登録は確定となります。

#### **8 履修申請単位数の上限を超えた学生の手続き**

単位数上限を超えた場合は、履修受付確認表にエラーとして表示されます。所属する学生担当窓口で超過単位数の取り消しの手続きを行ってください。手続きを行わなかった場合には、強制的に履修申請が取り消されるので注意してください。(上限設定については、p.9参照)

#### **9 履修登録の取り消し申請**

履修申請の手続き完了後、申請内容の変更は原則として認められません。しかし、受講中の科目で履修を取り止めたい科目があった場合には、履修登録確定後3週間以内であれば、共通教育係で履修登録取消申請をすることができます。また、病気や怪我などで長期欠席となる事態が発生した場合は、医師の診断書を添付して履修登録取消申請ができます。この場合は、学期中であれば申請可能です。これらの手続きは、意に添わない受講や怪我などの不測の事態により、受講科目の単位修得を放棄し、GPAが低くならないようにする特例措置です。



## よくある質問

### **Q 1 現在2年生ですが、1年生で開講されている科目を履修できますか？**

上級生でも、1年生のみを対象にしている科目以外であれば履修できます。ただし、授業クラスが学部・学科・番号等で指定されている科目については、該当するクラスで履修してください。受講対象・受講制限については、当該期の開設授業科目表を参考にしてください。

### **Q 2 IDとパスワードが分からないので、履修登録画面にログインできません。**

IDは鹿児島大学ID（kで始まる8文字の文字列）です。

鹿児島大学IDマイページにて[連絡先メールアドレス]又は[秘密の質問]を設定している場合、自身でパスワードを再設定できます。設定していない場合は、各学部学生係で手続きが必要です。

### **Q 3 外国語技能検定の単位認定をしたいのですが、単位認定を申請する科目の履修申請はどうすればよいですか？**

単位認定を申請する科目の履修申請は不要です。単位認定の申請方法は、「技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定について」を確認してください。（p. 19、22参照）

### **Q 4 共通教育科目と専門教育科目の履修申請日は同じですか？**

共通教育科目と専門教育科目の履修申請日は異なる場合があります。専門教育科目の履修申請日については、所属学部の掲示板等に注意してください。

## Ⅸ 共通教育に関する授業アンケート

鹿児島大学の学生が受講する授業を、素晴らしいものへと発展させるための原動力は、授業を受ける学生の声です。このため、共通教育センターでは、授業に対する学生の意見、感想、要望などを集め、個々の授業をより良いものへとするために、各学期末において「授業改善に資するアンケート」を実施します。

また、学生が授業に取り組む姿勢や教員の授業運営、授業全体の満足度なども質問します。それらの集計結果は、各授業の担当教員にフィードバックされるほか、科目分野ごとに集計され、より良い共通教育のカリキュラム編成のために、貴重な資料として利用されます。

アンケートの回答がみなさんの成績を左右することは決してありません。その一方で、統計的に信頼できる結果を得た上で、その結果をもとに授業改善の方針を決めるためには、アンケート対象者の大部分から回答が得られる必要があります。

従って、みなさんは、アンケートに誠実に向き合い、授業に対する率直な意見について回答してください。

## X 試験及び単位認定

### 〔1〕 試験

授業科目の成績評価は、シラバスに記載された「学習目標」と「成績の評価基準」に基づく学習達成度の確認により行います。試験は、筆記試験、小テスト、レポート、実技、作品などの方法により行い、総合的に評価します。試験は、各学期末において、共通教育行事予定表（表紙裏面）に記載してある試験日（原則各ターム最終日）に実施する試験（主に筆記試験）や授業中に実施される小テストや授業で課されるレポートなどがあります。

### 〔2〕 単位認定とGPA制度

共通教育においては、共通教育科目の学習達成度を測るためにグレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度による成績評価を行います。成績は、下表に示すように、学習達成度90%以上をA、80%以上90%未満をB、70%以上80%未満をC、60%以上70%未満をD、60%未満をFと評価します。評価のグレード・ポイント（GP）は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点、F=0点（不合格）となります。

学習達成度	評点	評語	認定
90%以上	100点～90点	A	合格
80%以上90%未満	89点～80点	B	合格
70%以上80%未満	79点～70点	C	合格
60%以上70%未満	69点～60点	D	合格
60%未満	59点～0点	F	不合格

各学期、1年間及び入学後のGPAをそれぞれ、学期GPA・年間GPA・通算GPAと呼び、当該履修期間に履修した科目のGPを用いて、以下のような単位平均値により求めます。

$$(\text{学期} \cdot \text{年間} \cdot \text{通算}) \text{ GPA} = \frac{4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F}{n_A + n_B + n_C + n_D + n_F}$$

ただし、 $n_A \sim n_F$  はそれぞれ当該期間のGPがA～Fの総単位数です。この式から明らかのように、評価F（=0点）で不合格となった科目があるとGPAが下がり、共通教育科目における学習達成度が低いことを意味します。

GPAの具体例についてはp.10を参照してください。

#### 1 GPA制度の対象外科目

単位認定科目及び他大学等単位互換制度により単位を修得した科目（成績評価はP（認定））と卒業要件外の科目が対象外となります。

## **2 履修申請科目の取り消し**

履修登録確定後に放棄した科目の評価はF（不合格）となります。評価Fも成績原簿に記録されますので、GPAを算出する場合に、評価F（=0点）はGPAを下げることであります。ただし、次の場合には、事前に履修を取り消すことができます。

- ・病気や怪我などで長期欠席となるために、医師の診断書を添付して履修登録取消申請をした場合
- ・履修登録の確定後3週間以内に、履修登録取消申請を行った場合

## **3 不合格科目及び単位修得後に成績更新をする科目の再履修**

不合格になった科目の評価F（=0点）は、GPAを下げることであります。したがって、選択科目であっても、不合格になった科目は再履修をして、GPの値を改善することができる手続きがあります。また、単位を修得した場合でも、GPの値が低いときには、GPAが下がります。それゆえ、単位を修得した科目でも、成績を更新するために再履修をすることが可能です。

不合格科目あるいは単位を修得した後にGPの値を更新しようとする科目については、成績更新のための再履修手続きを行うことができます。この場合、共通教育係で再履修申請を行います。なお、再履修申請は、原則として通常の履修申請よりも優先して登録されます。

再履修申請を行った場合、再履修が確定した時点で以前の評価は取り消されます。したがって、再履修科目の学習に励まなかったりすると、かえって評価が悪くなりGPAが以前よりも低下することもあるので、注意してください。

また、成績評価の認定が不合格となった科目又は単位を修得した後に成績を更新しようとする科目が未開講となり、在学期間中に再履修できない場合は、当該科目と同一の学問分野の授業科目を代替科目として履修し、成績を更新することができます。ただし、当該科目と同一の学問分野の授業科目がない場合は、成績を更新することはできないので、注意してください。

## **4 GPAに基づく表彰と助言・指導**

共通教育の通算GPAが優秀な学生には、「共通教育センター長賞」の表彰を行います。また、学期GPAが低い学生に対しては、クラス担任教員等が面談を行い、修学及び学生生活全般にわたり助言・指導を行います。その他、所属学部において、GPAによる賞罰や進級制度などが設けられている場合がありますので、所属学部の履修要項などを参照してください。

### **共通教育センター長賞表彰基準**

1～3期（ただし、医学部医学科、歯学部、共同獣医学部は1～2期）の通算GPA 3.5以上の者で各学部上位2名とし、かつ卒業要件を満たした者。

### **助言・指導基準**

1～2期の各学期GPAが1.5未満、又は1期の修得単位数が10単位未満（歯学部は15単位未満）、2期の修得単位数が6単位未満の者。

（p.63「鹿児島大学共通教育科目履修規則」）

（p.68「鹿児島大学共通教育科目試験等規則」）

### 〔3〕 追試験

- (1) やむを得ない理由により試験等を受けることができなかった者に対して、追試験を行うことがあります。
- (2) 追試験を希望する場合、当該科目の試験等の終了後に共通教育係で追試験願を受け取り、当該科目の担当教員の許可を得た後、原則として1週間以内に共通教育係に提出してください。
- (3) 担当教員の許可を受けるときには、確認のため以下の書類が必要です。
  - ・ 病気、交通事故・・・・・・・・・・医師の診断書
  - ・ 交通機関の運休、遅延・・・・各機関の発行する証明書
  - ・ その他・・・・・・・・・・やむを得ない事由を証明するもの

### 〔4〕 再試験

- (1) 試験の結果、不合格の者に対して、再試験を行うことがあります。
- (2) 再試験の実施科目、日程などについては、掲示により通知します。
- (3) 再試験においては、70点以上の成績は認定されません。
- (4) 再試験の成績判定は、当該授業科目が行われた学期の次の学期に行われます。ただし、再試験に合格した場合の単位は、当該授業科目が行われた学期の単位として認定されません。そのため、各学部における進級判定や卒業判定が行われる学期の再試験授業科目の場合、それらの判定の単位としては算定されませんので、特に注意が必要です。

### 〔5〕 受験上の注意

- (1) 試験科目、試験時間、試験場等は掲示します。事前に確認してください。  
なお、科目によっては小テストなどが行われますが、その場合には担当教員の指示に従ってください。
- (2) 受験に際しては、学生証を必ず持参してください。学生証が受験票の役割を持ちます。
- (3) 試験当日、学生証を持っていない者は、理由を書いた仮受験票発行願を共通教育係に提出し、仮受験票を発行してもらって受験してください。学生証を持参しないことが度重なった場合、仮受験票を発行しない場合もありますので十分注意してください。
- (4) 学生証又は仮受験票を持参しない者は、試験場への入室を拒否され受験できません。
- (5) 筆記用具以外の筆箱等の持物は、特に指示のある場合を除き、机上においてはいけません。携帯電話、スマートフォン、時計型端末などの通信機器や電子辞書等の情報検索が可能な機器を使用することはできませんので、必ず電源を切ってカバンなどに入れてください。
- (6) 学生証は、机の通路側においてください。
- (7) 試験開始時刻に遅れた場合、試験開始後20分以内は入室を認めますが、20分を超えて遅れた場合には、入室を認めません。また、25分以上経過しなければ退室することはできません。

## 〔6〕不正行為の措置

不正行為は、試験の際に、代理受験、カンニングペーパーの持込、答案用紙の交換、携帯電話、スマートフォン等の使用、他人の答案の盗み見等の行為が該当します。また、レポートの盗用・剽窃等（他人の文章やWebサイトの文章を学術上の引用ルールに則ることなくあたかも自分の文章として記載すること。）も不正行為にあたります。

不正行為を行った場合は「鹿児島大学共通教育科目試験等規則」第9条（p.68参照）により、原則として、当該期の共通教育科目の全受験科目を不合格（0点）とする措置がとられます。なお、不正行為は、共通教育センターによるこの措置とは別に、学則第60条による懲戒処分を受けることとなります。

## 〔7〕成績評価等に対する開示請求と異議申立て

共通教育科目に係る成績評価等の開示請求ができる制度があります。

また、開示結果だけでなく、普段の授業等における成績判定などについて異議がある場合、異議を申立てできる制度もあります。

これらの概要を次に示しますが、開示請求等を行わずに解決する場合もありますので、共通教育係に相談してください。

### ●成績等の開示請求について

成績評価や成績評価の基礎となる試験の答案について、開示請求が可能です。

### ●異議・再異議申立てについて

- (1) 成績評価の結果が予想と大きく異なる場合など、成績評価等について異議申立てができます。
- (2) 履修・受験したにもかかわらず、成績通知表に成績が記載されていないなど、誤った処理の疑いがある場合、問い合わせができます。
- (3) 異議申立ての回答について、納得がいかない場合、再度異議申立てをすることが可能です。

### ●成績等開示請求と異議・再異議申立ての手順

- (1) 開示請求と申立ては、原則として本人が行います。ただし、やむを得ない事由がある場合は、代理人を通じて行うことができます。
- (2) 共通教育科目の成績等開示請求の受付期間は、原則として前・後期の成績発表の日から7日以内としています。また、異議申立ては、履修科目の授業開始日に始まり、成績が発表された日から原則として7日以内までの期間に行えます。再異議申立ての場合も、異議申立てに対する回答書を受理してから原則として7日以内です。
- (3) 成績等開示請求をする場合は成績等開示請求書に、申立てをする場合は異議申立書・再異議申立書に必要事項を記入の上、共通教育係に提出してください。以上の内容について、詳しく知りたい場合は、共通教育係に問い合わせてください。



## 〔8〕単位互換制度

単位互換制度とは、他の大学、短期大学又は高等専門学校において授業科目を履修し、単位を修得した場合、一定の範囲内で本学の単位として認定する制度です。

本学では、以下の単位互換制度を設けていますが、それ以外に学部で行っている単位互換制度もありますので、所属学部の窓口で確認してください。

単位互換制度を利用して、履修可能な単位数及び卒業要件単位として認定される単位数は、各自の所属する学部によって取扱いが異なりますので、所属学部の学生担当窓口で確認してください。

### 1 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）「KRICEキャンパス鹿児島」

#### (※①)

鹿児島県内の6大学、4短期大学及び1高等専門学校(※②)が提供している授業科目の中から、科目開設校(※③)で履修し単位を修得すれば、鹿児島大学の単位として認定されます。

※①「KRICE（クライス）」とは、Kagoshima（鹿児島）Regional（地域）Intercollegiate（大学間）Credit（単位）Exchange（互換）の頭文字による名称です。

※②参加大学等名：鹿児島大学・鹿屋体育大学・鹿児島国際大学・鹿児島純心大学・志学館大学・第一工科大学・鹿児島県立短期大学・鹿児島純心女子短期大学・鹿児島女子短期大学・第一幼児教育短期大学・鹿児島工業高等専門学校

※③授業科目を提供する大学等。

### 2 鹿児島大学と放送大学との間における単位互換

この単位互換制度は、鹿児島大学及び放送大学で開講する授業科目を双方の大学の規則に定めるところにより、両大学の学生が相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める制度です。

時間に縛られず、場所の制約を受けずに本学にない内容の授業科目を履修したい、自分に深く関連する授業科目を履修したいなどの活用方法がありますので、積極的に利用してください。

放送大学の授業が行われる科目は、印刷教材（テキスト）が用意され、インターネットによる放送授業の視聴と印刷教材による学習を併せて進めます。単位認定試験は、定められた期間に自宅のPCなどから受けられます。

放送大学の入学料の徴収はありません。また、授業料に関しても予算の都合上、年間100名までは自己負担がありませんが、学生1人当たり、前・後期各1科目を限度とします。

なお、単位互換制度を利用して放送大学の授業科目を履修しようとする場合は、所定の期日までに、「出願票」、「入学願書（鹿児島大学学生用）」を共通教育係に提出してください。

詳細は、「鹿児島大学ホームページ」→「教育・学生生活」→「／自主学习等」→「単位互換制度（県内大学等・放送大学）」を参照してください。

令和6年度の共通教育科目として履修できる単位互換科目は次頁のとおりです。

1年生は、出願時期の関係上、令和6年度後期から受講できます。

## 令和6年度放送大学科目

No.	分類	科目名	単位	備考
1	人文・社会科学(選択)	問題解決の進め方('19)	2	
2	人文・社会科学(選択)	市民自治の知識と実践('21)	2	
3	人文・社会科学(選択)	国際理解のために('19)	2	
4	人文・社会科学(選択)	西洋哲学の根源('22)	2	
5	人文・社会科学(選択)	世界文学への招待('22)	2	
6	人文・社会科学(選択)	生活経済学('20)	2	
7	人文・社会科学(選択)	より良い思考の技法('23)	2	
8	人文・社会科学(選択)	総合人類学としてのヒト学('18)	2	
9	人文・社会科学(選択)	社会調査の基礎('19)	2	
10	人文・社会科学(選択)	貧困の諸相('23)	2	
11	人文・社会科学(選択)	心理学概論('24)	2	
12	人文・社会科学(選択)	日本近現代史('21)	2	
13	人文・社会科学(選択)	歴史のなかの人間('22)	2	
14	人文・社会科学(選択)	多文化共生のコミュニケーション('24)	2	
15	自然科学(選択)	遠隔学習のためのパソコン活用('21)	2	
16	自然科学(選択)	自然科学はじめの一步('22)	2	
17	自然科学(選択)	初歩からの数学('18)	2	
18	自然科学(選択)	身近な統計('24)	2	
19	自然科学(選択)	人体の構造と機能('22)	2	
20	自然科学(選択)	初歩からの生物学('24)	2	
21	自然科学(選択)	生物環境の科学('16)	2	
22	自然科学(選択)	初歩からの物理('22)	2	
23	自然科学(選択)	初歩からの化学('18)	2	
24	自然科学(選択)	ダイナミックな地球('21)	2	
25	自然科学(選択)	入門線型代数('19)	2	
26	自然科学(選択)	計算の科学と手引き('19)	2	
27	自然科学(選択)	情報学へのとびら('22)	2	
28	自然科学(選択)	宮沢賢治と宇宙('24)	2	



# X I 学生生活

## 〔1〕自然災害等非常時における授業・学期末試験等の取扱い

以下の「申合せ」を授業等休講の判断の目安にしてください。

大学が休講措置を決定した場合は、直ちに「申合せ」の 3 の方法で周知します。本学ホームページのトップページ「INFORMATION」欄に掲載します。

自然災害等非常時における授業・学期末試験等の取扱いに関する申合せ

平成 16 年 4 月 1 日

学長裁定

平成 19 年 1 月 12 日一部改正

平成 22 年 10 月 1 日一部改正

平成 29 年 4 月 1 日一部改正

令和元年 7 月 9 日一部改正

令和 3 年 6 月 8 日一部改正

令和 5 年 9 月 19 日一部改正

この申合せは、鹿児島市及びその周辺の自治体に避難指示等が発令され又は警戒レベル相当の防災気象情報が発表された場合及び不測の事態が生じた場合に、学生の安全確保を最優先とした対応を前提とした授業・学期末試験等(以下「授業等」という。)の取扱いに関し、必要な事項を定める。

### 1 休講等措置の決定

- (1) 休講等の措置は、学長が指名する理事及び共通教育センター長が 2 に定める判断基準に基づく協議により決定し、学長に報告する。
- (2) 前号の規定にかかわらず、学部等は特別の事情がある場合には、学部長等の判断により休講等の措置を決定することができる。ただし、この場合には学長及び前号の理事に報告するものとする。

### 2 授業等の取扱い

#### (1) 授業等開始前の取扱い

午前 6 時 30 分の時点で次の判断基準アからウまでのいずれかの状況が確認された場合は、原則として午前中(1、2 時限目)の授業等を休講とする。

なお、午前 11 時時点で、判断基準アからウまでのいずれかの状況が継続している場合は、原則として午後の授業等も休講とする。

判断基準

#### 【避難情報等(警戒レベル)】

ア 鹿児島市に警戒レベル 4 (避難指示)以上が発令されている場合

#### 【防災気象情報(警戒レベル相当情報)】

イ 鹿児島市に警戒レベル 4 相当(氾濫危険情報、土砂災害警戒情報)以上の防災気象情報が発表されている場合

#### 【公共交通機関情報】

ウ 市電又は路線バスが運行を見合わせている(運休を含む。)場合

(2) 授業等開始後の取扱い

前号の判断基準に準じて、取り扱う。

なお、休講の措置をとる場合で帰宅困難な学生がいる場合は、学生が適切な避難行動をできるように本学としての対応について併せて協議を行い決定する。

(3) 居住地又は通学経路に係る取扱い

前2号の取扱いにより、授業等が休講とならなかった場合でも、居住地又は通学経路にかかわる地域で警戒レベル4(避難指示)以上が発令され若しくは警戒レベル4相当以上の防災気象情報等が発表され、又は公共交通機関(鹿児島中央駅発着のJR、桜島フェリー又は垂水フェリー)の運休等が生じ、学生自身が安全確保の観点から登校しないことが適当と判断し、欠席等に至った場合には、当該学生に不利益が生じないよう取り扱うものとする。

(注)教育実習・病院実習・介護等体験実習・インターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従うものとする。

3 休講等措置の周知方法

(1) 学生部から各学部へ連絡し、各学部及び学生部は、学生に対して学習管理システム manaba 等により速やかに周知する。ただし、授業等時間中の場合は、担当教員を通じて周知する。

(2) 当日の授業等担当教員(非常勤講師を含む。)に対しては、各学部及び学生部から学習管理システム manaba 等により速やかに周知する。

(3) 学生部は、鹿児島大学のホームページに掲載する。

(4) 前3号に定める方法により周知がない場合は、2の取扱いに基づき、各自で判断するものとする。

4 その他

(1) 地震等不測の事態が生じた場合も、上記に準ずる。

(2) 学長及び学長が指名する理事が必要と判断した場合には、1の(1)及び2の規定にかかわらず、休講等の措置等について決定し、実施することができる。

<参考>

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
<b>5</b>	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	<b>5</b> 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
<b>4</b>	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	<b>4</b>	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
<b>3</b>	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	<b>3</b>	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	<b>2</b> 相当	氾濫注意情報 ——
<b>1</b>	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	<b>1</b> 相当	—— ——

(出典：内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年度)」)  
[http://www.bousai.go.jp/oukву/hinan\\_iouhou/r3\\_hinan\\_iouhou\\_guideline/](http://www.bousai.go.jp/oukву/hinan_iouhou/r3_hinan_iouhou_guideline/)

## 〔2〕 学生生活上の相談

学生生活で何か困っていること、悩んでいることがあれば、気軽に「学生何でも相談室」へ申し出てください。相談内容により、所属する学部の実任教員、教務委員、学生生活委員などと連携して対応しています。詳細については「学生便覧」を確認してください。

### 1 修学及び学生生活一般

修学及び学生生活一般に関する総合的な指導・助言を担当する教員が各学部にありますので、所属学部の学生担当窓口を通して相談することもできます。

#### <学生何でも相談室等の案内>

充実した学生生活が送れるように、悩みや迷いに対する相談窓口として、共通教育棟1号館2階に「学生何でも相談室」があります。相談室では、学生生活課の職員が相談者の話を聞き、相談内容に応じて、相談員（各学部学生生活委員）、クラス担任等の教員、ハラスメント相談員、保健管理センター、また、学内外の相談窓口等と連携しながら対応します。

相談内容について、秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。

「学生何でも相談室」 電話 099-285-7311

また、次のような相談は下記の部署で応じています。

共通教育科目等の履修・成績に関する相談 「共通教育課共通教育係」  
電話 099-285-3452・8825

奨学金の相談 「学生生活課経済支援係（奨学金担当）」  
電話 099-285-7329・8154

授業料免除の相談 「学生生活課経済支援係（免除担当）」  
電話 099-285-7033・7312

就職関係の相談 「キャリア形成支援センター」  
電話 099-285-7341・7321

#### <修学支援室（障害学生支援センター）>

「修学支援室（障害学生支援センター）」では、学生生活につまづきを感じている学生や障害のある学生からの修学に関わる相談に応じています。必要に応じ配慮申請の手続きを行っています。

修学の相談・支援の申請 「修学支援室（障害学生支援センター）」  
電話 099-285-3287

## 2 担任教員等

各クラス又はクラス内の一定人数ごとに担任教員・助言指導教員が配置されており、修学に関する諸事項、授業料免除や奨学金に関する諸事項、休・退学や進路に関する諸事項などについて助言・指導を行います。とくに学期末にGPAが低い成績不振者に対する助言・指導を行うなど、適切な学生生活を維持するための良きアドバイザーとして活動しますので、学生は進んで遠慮なく担任教員等に相談してください。

### 令和6年度入学生 クラス担任教員等

学部	学科等	組	学籍番号 (学科等、番号)	担任教員等
法文学部	法経社会学科(法学)	1	62001～	米田 憲市
				三上 佳佑
				河野 航平
				中島 宏
				上原 大祐
	法経社会学科(地域社会・経済)	2	63001～	王 鏡凱
				片桐 資津子
				北崎 浩嗣
				城戸 秀之
				桑原 司
				高倉 啓
				林田 吉恵
				松川 太一郎
				三浦 壮
	人文学科(多元地域文化・心理学)	3	64001～	石田 智子
			丹羽 謙治	
			金井 静香	
65001～			山崎 真理子	
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース一般	1	41001～	高谷 哲也
				下木戸 隆司
				大淵 貴之
				新名 隆志
				和田 信哉
				土田 理
				丹羽 佐紀
				坂田 桂一
				黒光 貴峰
	小江 和樹			

	学校教育教員養成課程 初等教育コース音楽	1	42001～	石田 匡志
	学校教育教員養成課程 初等教育コース保健体育		43001～	中島 友樹
教育学部	学校教育教員養成課程 中等教育コース国語	2	68001～	瀬筒 寛之
	学校教育教員養成課程 中等教育コース社会		69001～	大野木 俊文
	学校教育教員養成課程 中等教育コース英語		74001～	千代田 夏夫
	学校教育教員養成課程 中等教育コース数学	3	70001～	有家 雄介
	学校教育教員養成課程 中等教育コース理科		71001～	内ノ倉 真吾
	学校教育教員養成課程 中等教育コース技術		72001～	浅野 陽樹
	学校教育教員養成課程 中等教育コース家政	4	73001～	黒光 貴峰
	学校教育教員養成課程 中等教育コース音楽		44001～	山下 晋
	学校教育教員養成課程 中等教育コース美術		45001～	清水 香
	学校教育教員養成課程 中等教育コース保健体育		46001～	前田 雅人
	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース		63001～	肥後 祥治
理学部	理学科	1	60001～	・数理情報科学プログラム 近藤 剛史 ・物理・宇宙プログラム 野澤 和生 ・化学プログラム 児玉谷 仁 ・生物学プログラム 小沼 健
	理学科	2	60096～	・地球科学プログラム 嶋野 岳人 ・CPUクラス 宮本 旬子
医学部	医学科	1	10001～	(助言指導教員)
	保健学科 (看護学専攻)	2	21001～	根路銘安仁、 兒玉慎平、松成裕子、 沖利通、清水佐智子、 井上尚美、西尾育子、 山下亜矢子、八代利香、 宮田昌明、山口さおり、 若松美貴代、李慧瑛、 西本大策、益満智美、 日隈利香、橋元久美子、 水野昌美、佐々木八千代、 古島大資、津留見美里、 萬歳優美、石川祥子、 押目百世

医学部	保健学科（理学療法学専攻）		22001～	大渡 昭彦	
	保健学科（作業療法学専攻）			松田 史代	
歯学部	歯学科		1	10001～	
				佐藤 友昭	
工学部	先進工学科 （機械工学プログラム）		1	32001～	
				片野田 洋	
	先進工学科 （電気電子工学プログラム）		2	33001～	
				小金丸 正明	
	先進工学科 （海洋土木工学プログラム）		3	34001～	
				奥田 哲治	
	先進工学科 （化学工学プログラム）		4	35001～	
				審良 善和	
先進工学科 （化学生命工学プログラム）		4	36001～		
			鯨島 宗一郎		
先進工学科 （情報・生体工学プログラム）		2	37001～		
			上田 岳彦		
先進工学科 （工学系共通クラス）		5	38001～		
			福元 伸也		
建築学科 （建築学プログラム）		3	40001～		
			橋本 雅仁		
農学部	農学科		1	50001～	
				2	下田代 智英
				3	加治佐 剛
				4	藤田 清貴
国際食料資源学 特別コース	農学系 サブコース	2	41001～	坂上潤一、 Mun'de C.M Vestergaard	
	水産学系 サブコース		70001～	石崎宗周、藤本麻里子 VAZQUEZ ARCHDALE, Miguel (ミゲル)	
水産学部	水産学科		1	50001～	須本 祐史
				50016～	山本 智子
				50031～	石川 学
				50046～	塩崎 一弘
				50061～	久賀 みず保
	水産学科		2	50076～	堤 英輔
				50091～	内匠 正太
				50106～	宇野 誠一
			50121～	土井 航	
共同獣医 学部	共同獣医学科		1	11001～	三浦 直樹
	畜産学科			2	21001～

※学籍番号は、以下のように10桁の数値から成り立っています。

○○ ○○ ○○ ○○○ ○  
学部 入学年度 学科等 番号 チェックデジット

### 〔3〕 諸願・届及び注意事項

学生生活を送る上で必要な事項や諸手続きは、「学生便覧」にも記載されています。詳細については、指定された学生担当窓口にお問い合わせください。

#### 1 学生の身分異動等

##### (1) 学生カード

本学在学学生は、学生カードの登録が必要となっていますので、学務Webシステムから登録してください。

また、登録後、住所・メールアドレスや電話番号等の変更があった場合は、学生カードの登録内容の変更も忘れずに行ってください。

##### (2) 学生証の再交付

学生証は必ず携帯しなければなりません。

学生証を紛失、汚損したときは、直ちに学務Webシステムで再発行の理由を登録後、1週間以内に生協本部（中央食堂2階）又は桜ヶ丘店（桜ヶ丘会館2階）の最寄りの窓口へ再発行料を納付し、再発行申請を完了してください。この場合の再発行料は学生の自己負担となります。再発行申請後、再発行後の学生証交付までに約1週間を要します。

##### (3) 休学

正当な事由によって2カ月以上修学できない場合は、所属学部の学生担当窓口申し出た後、担任教員に相談した上、「休学願」（所定の用紙）を提出してください。病気の場合は、医師の診断書が必要です。

##### (4) 復学

休学期間中にその事由が解消されたときは、所属学部の学生担当窓口「復学願」を提出してください。病気ですぐ休学した場合は、医師の診断書が必要です。

##### (5) 退学

退学を願い出るときは、所属学部の学生担当窓口申し出た後、担任教員に相談した上、所定の書類により手続きを取ってください。病気の場合は、医師の診断書が必要です。

##### (6) 欠席届

連続して3週間以上欠席する場合は、所属学部の学生担当窓口理由書（病気の場合は医師の診断書）を添付して欠席届を提出してください

#### 2 証明書などの発行

##### (1) 在学証明書、卒業（修了）見込証明書、成績証明書、学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）、健康診断証明書（異常なしの場合）、学生教育研究災害障害保険証明書の発行

IC学生証を用いて証明書発行機で発行してください。

学生カード未登録、学生証不携帯や有効期限切れの場合は利用できません。

<証明書発行機設置場所>

(郡元) 大学会館、中央図書館、教育学部第一講義棟、農・獣医共通棟

(下荒田) 水産学部講義棟、(桜ヶ丘) 桜ヶ丘会館

##### (2) 学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）の発行

実習、見学、教育活動、就職試験、帰省等の目的でJR各社の区間を片道100kmを超えて乗車する場合、1人あたり1年間（4月～翌年3月）30枚を限度として証明書発



行機で学割証の交付を受けることができます。有効期限は3カ月です。学割証を使用する際は、学割証裏面の使用上の注意をよく読み、絶対に不正に使用しないでください。

なお、1人あたり1年間（4月～翌年3月）30枚を超える場合は、所属学部 of 学生担当窓口で理由を付して申し出てください。

### （3）通学証明書の発行

市電、市バス、JR、南国交通、鹿児島交通、その他の交通機関の定期券購入希望者は、通学証明書を窓口で発行します。3期（ただし、医学部医学科、医学部保健学科看護学専攻、歯学部、共同獣医学部は2期）までは共通教育係窓口で、4期以降は所属学部 of 学生担当係窓口で手続きしてください。

## 3 車両等による通学

近年、通学に自動車及びバイクの利用者が非常に多くなっており、交通事故や騒音問題もそれに伴い増加の傾向にあります。従って通学には公共の交通機関を利用してください。

（郡元地区の交通規制）

郡元地区では、原則として片道10km以上の通学者に対して自動車での入構を許可しています。（自動車によらなければ通学が困難な学生は、通学距離にかかわらず許可しています。）

自動車での通学を希望する場合は、あらかじめ各学部の教務係又は学生係に入構許可申請を行い、入構許可証の交付を受け、必ずその自動車に掲示することになっています。

また、郡元地区では、学内の交通安全と教育・研究環境を保持するため、パスカード方式による構内の交通規制を行っています。パスカードの購入手続きについては、担当係へ問い合わせてください。

構内では下記の事項を遵守してください。（許可車以外の入構はできません）

（遵守事項）

- ① 歩行者の安全を第一とし、構内に設置されている道路標識及び標示に従うこと。
- ② 構内の運行速度は20km/h以下とすること。
- ③ 駐車場はそれぞれ所属学部等専用として指定されているので、各自所定の場所に駐車すること。また、バイクは専用駐車場に駐車すること。
- ④ 出構時までは自動車及びバイクの移動を行わないこと。
- ⑤ 自動車については、入構許可証を指定の場所に掲示すること。
- ⑥ 本学の行事又は緊急事態等に際して臨時に車両（自動車、バイク及び自転車）の運行を規制する時はそれに従うこと。
- ⑦ 長期間構内や駐輪場などに放置された車両は、一定の警告期間を経た後、撤去・処分される場合があります。

## 4 健康の維持

### （1）学生定期健康診断（4月）

学生の定期健康診断は、「鹿児島大学学生規則」に基づき実施しているので、必ず受診してください。実施上の詳細については、オリエンテーション資料や保健管理センターのホームページを必ず確認してください。また、メール・掲示板等も確認してください。

### （2）健康相談

大学内で急に気分が悪くなったり、ケガをしたり、休養などの必要がある場合は、保健管理センターに相談してください。



## 5 共通教育棟の施設の利用（P Cの利用など）

### (1) P C教室の案内と利用について

共通教育棟1号館2階と3階には123・134・135・136・137号情報教育教室（以下、P C教室）があり、約200台のP Cが設置されています。自習利用時間及び自習利用に開放する教室は共通教育係にご確認ください。

P C教室は鹿児島大学の重要な教育施設です。また、多くの学生が教育や研究で活用していますので、基本的なマナーを守り、大切に使用してください。

なお、同様に利用できるP Cが情報基盤統括センターや附属図書館（中央図書館、水産学部分館）にも設置されています。開館時間についてはそれぞれ施設のW e b サイトをご確認ください。

### (2) 利用方法や利用するときの注意とマナーについて

①P Cを利用するためには、鹿児島大学I Dとパスワードが必要です。入学時、各学部オリエンテーションで「鹿児島大学I D・パスワード設定コード通知書」が配付されます。パスワード設定コードの有効期限内に各自でパスワードを設定し、鹿児島大学I Dを有効にしてください。設定したパスワードは、他人に知られることがないように厳重に管理してください。

②鹿児島大学I Dのパスワードを忘れた場合は、事前に鹿児島大学I Dマイページにて[連絡先メールアドレス]又は[秘密の質問]を設定していると、自身でパスワードを再設定できます。設定されていなかった場合は、学生証を持参の上、各学部学生係にお越しください。

③P C教室の自由利用について、利用するときの手続きは特に必要ありません。

ただし、授業が行われておらず、かつ利用が許可されている部屋に入室してください。

④共通教育棟のP C教室は土足のまま入室できますが、教室の美化に協力してください。

また、教室内は、機器保護のため飲食物持ち込み及び飲食は禁止です。

⑤P Cの故障が疑われる場合は、共通教育係に連絡してください。

⑥教育・研究以外でのP Cの利用やP C等を用いての違法行為（ファイル交換ソフトや違法コピーによる著作権侵害、不正アクセスなど）は当然禁止です。もし発覚した場合は、利用資格の停止や制限、さらに懲戒処分などの措置をとることもあります。

## 6 その他

### (1) 共通教育係の窓口

共通教育係の窓口は、共通教育棟1号館1階にあります。

業務時間は午前8時30分から午後5時までです。（土日祝日、年末年始等の大学の休業日を除く）

共通教育科目及び学芸員資格の成績や履修に関する重要なことは、直接窓口で問い合わせてください。

### (2) 遺失物について

遺失物の取扱いは、共通教育課共通教育係・各学部の教務係又は学生係（学生支援係）並びに大学会館1階事務室で行いますので、落としたと思われる学部等の担当係に問い合わせてください。

### (3) 奨学金について

#### ①日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、学業成績が優秀であり、経済的な理由により修学が困難な学生に対し、学資の貸与・給付などを行っている団体です。貸与奨学金には、第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）があり、併用貸与も可能です。給付奨学金は、家計基準に応じた月額が給付されます。

#### 【貸与奨学金（令和5年4月現在）】

種類	通学形態	月額
第一種 (無利子)	自宅	20,000、30,000、45,000円
	自宅外	20,000、30,000、40,000、45,000、51,000円
第二種 (有利子)	自宅・自宅外	20,000、30,000、40,000、50,000、60,000、70,000、80,000、90,000、100,000、110,000、120,000円 (利率は年最大3.0%)
入学時特別増額貸与（有利子）		100,000、200,000、300,000、400,000、500,000円 (入学時1回のみ、利率は年最大3.2%)

#### 【給付奨学金（令和5年4月現在）】

世帯の所得金額に基づく区分	通学形態	月額	制限月額（第一種奨学金） ※ 第一種奨学金の併用貸与を受ける場合
第Ⅰ区分	自宅	29,200円（33,300円）	0円
	自宅外	66,700円	0円
第Ⅱ区分	自宅	19,500円（22,200円）	0円
	自宅外	44,500円	0円
第Ⅲ区分	自宅	9,800円（11,100円）	20,300円（25,000円）
	自宅外	22,300円	13,800円

注1 奨学金の貸与・給付期間は、原則として、奨学生に採用された時からその者の在学する学部及び学科・課程の最短修業年限の終期となっています。

注2 給付奨学金の受給と併せて第一種奨学金の貸与を受けている場合は、第一種奨学金の貸与月額に制限がかかります。詳細は、奨学金窓口（学生部学生生活課経済支援係）へ問い合わせてください。

注3 生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

注4 給付奨学金に新しい区分が追加される予定です。詳細は、内容が確定次第、本学ホームページに掲載します。

## ②鹿児島大学離島出身者支援スタートアップ奨学金

鹿児島県内の離島地域に所在する小学校、中学校又は高等学校を卒業し、鹿児島大学の第1年次に入学した学部生のうち、入学年度の本学前期分授業料免除を申請の上、許可された学生に予算の範囲内で25万円を給付する制度です。

## ③その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金以外にも、都道府県市町村奨学金や各種団体奨学金があり、本人が直接出願するものと、大学を通して出願するものがあります。なお、団体によっては日本学生支援機構やその他の奨学金との重複採用を認めないことがあります。

## (4) 授業料免除

授業料免除については、「高等教育の修学支援新制度」に定める授業料等減免制度に基づき実施しております。

具体的には、日本学生支援機構（JASSO）の給付奨学金に採用された者に対して、採用時に決定した支援区分に基づき、授業料の免除額を決定します。

## (5) 教室の使用

課外活動のため教室の使用を希望する場合は、使用する3日前（土日祝日、年末年始等の大学の休業日を除く）までに共通教育係へ使用願を提出し、承認を得てください。使用できる教室と時間は原則として次のとおりです。

使用できる教室 共通教育棟1号館及び2号館

使用できる時間 月曜日～金曜日 18時～21時

## XII 転学部について

本学では、他の学部に転学部を志願する者があるときは、関係学部の定めるところにより、転学部を許可することがあります（学則第35条）。ただし、次のとおり学部ごとに条件が異なっているため、当該学部で確認してください。

- |        |                                                                                                |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 法文学部   | 他学部からの転入は、当該学科・コースの教育・研究に支障のない限り、教授会の議を経て認めることがある。また、他学部への転出は、特別な事情がある場合に限り、教授会の議を経て許可することがある。 |
| 教育学部   | 他学部からの転入は、入学年次の定員に欠員がある場合に限り、教授会の議を経て認めることがある。また、他学部への転出は、特別な事情がある場合に限り、教授会の議を経て認めることがある。      |
| 理学部    | 他学部からの転入は、教授会において審議の上、認めることがある。また、他学部への転出は教授会において審議の上、許可することがある。                               |
| 医学部    | 他学部からの転入は原則として認めない。他学部への転出を志望する者があるときは当該学部の定めるところによりこれを許可することがある。                              |
| 歯学部    | 他学部からの転入は原則として認めない。他学部への転出は、教授会の議を経て許可することがある。                                                 |
| 工学部    | 他学部からの転入は、当該プログラムの教育・研究に支障のない限り、当該プログラムで審査の上、教授会の議を経て許可することがある。また、他学部への転出は教授会の議を経て許可することがある。   |
| 農学部    | 他学部への転出、他学部からの転入は、教授会の議を経て認める。転入については、在学生の修業に支障がない限りにおいて許可することがある。                             |
| 水産学部   | 他学部からの転入は、欠員がある場合に限り、選考の上、教授会の議を経て許可することがある。また、他学部への転出は、教授会の議を経て許可することがある。                     |
| 共同獣医学部 | 他学部からの転入は原則として認めない。他学部への転出を志望する者があるときは当該学部の定めるところによりこれを許可することがある。                              |

鹿児島大学共通教育科目履修規則

鹿児島大学共通教育科目試験等規則

鹿児島大学共通教育センター科目等履修生に関する細則

鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群に係る技能審査等の認定基準に関する申合せ



## 鹿児島大学共通教育科目履修規則

平成16年4月1日  
規則第115号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号。以下「学則」という。)第38条第7項の規定に基づき、鹿児島大学(以下「本学」という。)における共通教育科目の履修方法等について、必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の開講期)

第2条 授業科目の開講期は、原則として次のとおりとする。

前期 4月1日～9月30日

後期 10月1日～翌年3月31日

(共通教育科目の区分)

第3条 共通教育科目の区分は、別表第1から別表第3までのとおりとする。

2 共通教育科目に係る授業科目名、単位数、講義内容及び開講期は、別に定める。

第4条 削除

(授業期間)

第5条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(単位の計算)

第6条 各授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、講義、演習、実験若しくは実習のいずれか又はこれらの併用の方法に応じ、当該授業科目による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験及び実習については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(学部別卒業要件単位数等)

第7条 各学部における共通教育科目の卒業要件単位数及び履修方法は、別に定める。

(外国人留学生の履修の特例)

第8条 外国人留学生(共同獣医学部共同獣医学科の外国人留学生を除く。)に係る日本語・日本事情科目の履修については、日本語4単位及び日本事情4単位を修得しなければならない。この場合において、日本事情の4単位は、人文・社会科学分野(選択科目)、統合Ⅰ又は統合Ⅱの単位に読み替えることができる。

(授業時間割及び履修申請)

第9条 開設する授業科目の時間割及び担当教員は、各期の履修登録日の前に公示する。

2 学生は、受講する授業科目を選定のうえ履修計画を作成し、各期の始めの所定の期日に履修申請をしなければならない。

3 履修申請し受講の承認を得ていない授業科目については、単位の認定を受けることができない。

4 履修登録の変更は、原則として認めない。ただし、次の各号の一に該当する場合は、履修登録を取り消すことができるものとする。

(1) 病気や怪我などで長期欠席となるために、医師の診断書を添付して履修登録取消申請をした場合

(2) 履修登録の確定後3週間以内に、履修登録取消申請をした場合

5 同じ授業科目が、同一時間帯に複数開設される場合、指定された授業クラス以外の受講は、原則として認めない。

(再履修)

第9条の2 成績評価の認定が不合格となった科目又は単位を修得した後に第10条の2に定めるグレード・ポイント(以下「GP」という。)の値を更新しようとする科目は、再履修の申請を行うことができるものとする。

- 2 再履修の申請は、原則として前条第2項に基づく履修申請よりも優先して登録されるものとし、再履修が確定した時点で、当該科目の成績評価は削除する。
- 3 再履修登録の変更は、前条第4項第1号に定める場合を除き、認めない。
- 4 再履修に関し必要な事項は、別に定める。

(試験等及び単位認定)

第10条 授業科目を履修した学生に対しては、授業総時数の3分の2以上出席した場合に限り、シラバスに記載された方法で試験その他の大学が定める適切な方法(以下「試験等」という。)により学修の成果を評価して、合格した者には、単位を認定する。

- 2 試験等及び認定単位に関し必要な事項は、別に定める。
- 3 学則第44条の2の規定により、共同獣医学部共同獣医学科の学生が、山口大学が開設する共同教育課程に係る授業科目の履修により修得した単位は、本学の教育課程において修得したものとみなすものとする。

(GPA制度による成績評価)

第10条の2 共通教育科目の成績評価は、グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という。)制度により行い、シラバスに記載された学習目標と評価基準及び方法に基づき、学習達成度を評価する。

- 2 各学期、1年間及び入学後のGPAはそれぞれ、学期GPA、年間GPA及び通算GPAと称する。
- 3 各科目の学習達成度のGPの値及びGPAの算出方法は、別表第4のとおりとする。
- 4 履修登録確定後に放棄した科目の評価は不合格とし、成績原簿に記録する。
- 5 GPA制度に基づき、成績優秀者に対する表彰及び成績不振者に対する助言・指導を行う。
- 6 前項の表彰及び助言・指導に関し必要な事項は、別に定める。

(1年次入学前の既修得単位の認定)

第11条 本学入学前に他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学における共通教育の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学入学前に行った大学の専攻科、短期大学の専攻科、高等専門学校の専攻科又は高等専門学校の課程における学修について、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、共通教育科目及び専門教育科目の単位について学則第45条に規定する単位と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 単位の認定方法等については、別に定める。
- 5 編入学、転学等の場合における共通教育科目の既修得単位の認定については、各学部において定める。

(技能審査合格者等の単位認定)

第12条 本学が認定した技能審査等に合格又は一定の成績を修めた各学部(共同獣医学部共同獣医学科を除く。)の学生について、教育上有益と認めるときは、当該技能審査等の成果を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項の本学が認定した技能審査等及び単位の認定方法等に関し必要な事項は、別に定める。
- 3 第1項の規定により履修とみなし、与えることができる単位数は、前条第3項に規定する単位数に含めるものとする。



附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、在学する学生は、改正後の第8条の2、第9条第4項ただし書き、第9条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生は、改正後の第12条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する農学部獣医学科の学生については、改正後の規則(第9条を除く。)にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第12条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第8条第1号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第6条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において在学する者については、改正後の第3条第1項、第10条の2第3項、別表第3及び別表第4の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第12条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第3条第1項別表第1及び別表第2、第8条、第10条第3項、第12条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第3条関係)

法文学部、教育学部、理学部、医学部、歯学部、工学部、農学部、水産学部、共同獣医学部畜産学科

大分類	中分類	小分類
必修科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ 初年次セミナーⅡ 大学と地域 体育・健康(理論) 体育・健康(実習) 情報活用
	グローバル教育科目	英語 異文化理解
	日本語・日本事情	日本語 日本事情
選択必修科目	教養教育科目 (教養基礎科目)	人文・社会科学分野(初修外国語) 人文・社会科学分野(選択科目) 自然科学分野(実験科目) 自然科学分野(選択科目) 自然科学分野(基礎教育入門科目)
	教養教育科目 (教養活用科目)	統合Ⅰ(課題発見) 統合Ⅱ(課題解決)
卒業要件外科目	学芸員資格科目	学芸員資格

備考1：初年次セミナーⅡは、原則として一般学生を対象とする。

備考2：日本語・日本事情は、原則として外国人留学生を対象とする。

別表第2(第3条関係)

共同獣医学部共同獣医学科

共通教育科目	一般教養教育科目
	体育・健康科目
	初期教育科目
	外国語科目

備考：共同獣医学部規則別表第1に規定する履修課程表にない共通教育科目の授業科目を履修し、修得した単位は、自由単位とする。

別表第3(第3条関係)

高度共通教育科目	プログラム科目 実地体験事前演習 実地体験 プログラム修了演習
----------	------------------------------------------

備考1：高度共通教育科目の単位は、共通教育科目の卒業要件外単位とする。

備考2：高度共通教育科目の単位は、各学部において、専門教育科目の卒業要件単位に認定することができる。

別表第4（第10条の2関係）

項目	学習達成度	評語	GPの値
成績評価及び評語	90%以上	A	4点
	80%以上90%未満	B	3点
	70%以上80%未満	C	2点
	60%以上70%未満	D	1点
	60%未満	F	0点
単位認定科目及び他大学等単位互換により単位を修得した科目の成績評価	認定	P	
GPAの算出方法	$(\text{学期} \cdot \text{年間} \cdot \text{通算}) \text{GPA} = (4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F) / (n_A + n_B + n_C + n_D + n_F)$ 注) $n_A$ 、 $n_B$ 、 $n_C$ 、 $n_D$ 、 $n_F$ は、それぞれ当該期間に履修した科目のA、B、C、D、Fに対応する総単位数とする。		

## 鹿児島大学共通教育科目試験等規則

平成16年4月1日

規則第142号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目履修規則(平成16年規則第115号)第10条第2項の規定に基づき、試験等に関し必要な事項を定めるものとする。

(試験等の受験資格)

第2条 試験等は、授業科目の授業総時数の3分の2以上出席した場合に限り、受験することができる。ただし、授業総時数の3分の2以上出席していない場合であっても、担当教員が特に必要と認めたときは、補講を受講した上で受験することができるものとする。

(単位の認定)

第3条 授業科目を履修した学生に対しては、シラバスに記載された学習目標の達成度を評価するため、当該科目の成績評価基準に基づき試験等を行い、合格した者に単位を認定する。

(方法)

第4条 試験等は、筆記試験、小テスト、レポート、実技及び作品等の方法により総合的に行う。

(成績の評価)

第5条 成績の評価は、評点又は評語をもって表し、可否の認定は、次の基準によるものとする。ただし、成績の報告は評点で行う。

学習達成度	評点	評語	認定
90%以上	100点～90点	A	合格
80%以上90%未満	89点～80点	B	合格
70%以上80%未満	79点～70点	C	合格
60%以上70%未満	69点～60点	D	合格
60%未満	59点～0点	F	不合格

単位認定科目及び他大学等单位互換により単位を修得した科目の成績評価は、P(認定)の評語で表す。

(発表)

第6条 試験等の結果は、成績通知表によって発表する。

(追試験等)

第7条 やむを得ない事情によって試験等を受験できなかった者に対して、追試験等を行うことがある。

2 追試験等を受けようとする者は、担当教員の承認を得て追試験願を提出しなければならない。

(再試験等)

第8条 試験等の結果、合格しなかった者に対して再試験等を行うことがある。

- 2 再試験等を受験できる者は、成績通知表等により通知するものとする。
- 3 再試験等においては、70点以上の成績は認定しない。
- 4 再試験等の成績判定は、当該授業科目が行われた学期の次の学期に行う。ただし、再試験等に合格した場合の単位は、当該授業科目が行われた学期の単位として認定する。

(不正行為の措置)

第9条 試験等の際、不正行為の事実が確認された場合、原則として、当該期の共通教育科目の全受験科目を不合格(0点)とする措置をとる。

- 2 前項の不正行為を行った者については、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号)第60条の規定により当該学部教授会の議を経て、学長が懲戒することがある。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、在学する学生は、改正後の第5条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、在学する学生は、改正後の第5条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成21年12月24日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

## 鹿児島大学共通教育センター科目等履修生に関する細則

平成29年5月12日

総機細則第1号

(趣旨)

第1条 この細則は、鹿児島大学科目等履修生規則(平成16年規則第112号)第11条の規定に基づき、共通教育科目を受講する科目等履修生(以下「履修生」という。)について必要な事項を定める。

(資格)

第2条 共通教育科目の履修を志願する者の資格は、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号)第30条の規定を準用する。

(出願方法)

第3条 共通教育科目の履修を志願する者は、次に掲げる書類を添えて共通教育センター長に願い出なければならない。

- (1) 願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終学校の卒業証明書及び成績証明書
- (4) その他共通教育センターが必要と認めた書類

2 外国人の場合は、前項各号に掲げる書類のほか、旅券の写又は在留カードを提出しなければならない。

(出願期日)

第4条 出願は、共通教育センターの指定する期日までに行わなければならない。

(受入許可)

第5条 履修生の受入許可は、当該授業科目の担当教員の内諾を得た後、共通教育センター運営委員会の議を経て、共通教育センター長が行う。

(履修期間)

第6条 履修期間は、履修を許可された当該授業科目の開設期間とし、引き続き履修を志願する者は、その都度手続きを更新するものとする。

(単位の認定)

第7条 履修した授業科目については、別に定めるところにより試験を受けることができる。

2 前項の試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

附 則

この細則は、平成29年5月12日から施行する。

附 則

この細則は、令和4年4月7日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則

平成16年4月1日

規則第143号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目履修規則(平成16年規則第115号)第11条第4項の規定に基づき、1年次入学前の既修得単位の認定について必要な事項を定める。

(申請期間)

第2条 本学に入学した年度に限り、入学前の既修得単位の認定を願い出ることができ  
る。

(認定方法)

第3条 認定方法は、別表第1-1及び別表第1-2のとおりとする。ただし、卒業要件  
単位数を超えないものとする。

(認定の手続)

第4条 認定を希望する者は、認定願及び成績証明書等を所定の期日までに共通教育セン  
ター長に提出しなければならない。

2 認定願及び成績証明書等の提出日は、入学年度の4月1日及び共通教育センター長が  
定める7月の所定の期日とする。ただし、4月1日が日曜日若しくは土曜日又は国民の  
祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この項において「日曜日  
等」という。)に当たる場合は、当該日の直後の日曜日等でない日とする。

3 単位の認定は、申請者の所属学部で内容の確認を行い、共通教育センター運営委員会  
の議を経て共通教育センター長が行う。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年4月28日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1-1 (第3条関係)

1 年次入学前の既修得単位の認定方法

(法文学部・教育学部・理学部・医学部・歯学部・工学部・農学部・水産学部・共同獣医学部(畜産学科))

科目格組	必修科目										選択必修科目			
	初年次教育科目					グローバル教育科目		日本語・日本事情			教養教育科目			
	初年次セミナーⅠ	初年次セミナーⅡ	大学と地域	体育・健康		情報活用	英語	異文化理解	日本語	日本事情	教養基礎科目		教養活用科目	
				理論	実習						人文・社会科学分野	自然科学分野	統合Ⅰ(課題発見)	統合Ⅱ(課題解決)
学部	認定方法(認定できる上限単位数)													
法文学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	4単位	2単位	4単位	4単位	6単位	4単位	2単位	2単位
教育学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	4単位 ただし、英語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡBに限る。	2単位	4単位	2単位	6単位 イ. 選択科目については、4単位 ロ. 独語、仏語、中国語又は韓国語については、2又は3単位修得している者には、初級Ⅰの2単位を、4単位以上修得している者には、初級Ⅰ・初級Ⅱの4単位	4単位	2単位	2単位
理学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	
(医学部)	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	4単位	2単位	4単位	4単位	4単位	2単位	4単位	
(保健学科)	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	認定しない	2単位	4単位	2単位	4単位	4単位	6単位 (看護学専攻は4単位)	6単位 (看護学専攻は2単位)	4単位	
	※教養基礎科目、教養活用科目を合わせて10単位													
歯学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	4単位	2単位	2単位
工学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位	認定しない	認定しない
農学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	
	国際食料資源学特別コース	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	5単位	2単位	4単位	4単位	4単位	8単位	4単位	
水産学部	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	5単位	2単位	4単位	4単位	4単位	10単位	4単位	
(畜産学科)	認定しない	認定しない	認定しない	1単位	1単位	2単位	4単位 ただし、英語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡBに限る。	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	

備考

- 1 本学以外において修得した単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、30 単位(歯学部にあつては 18 単位)を超えることはできない。
- 2 本学において修得した共通教育の単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、各学部の判断で、上記表に掲げる認定単位数を超えて認めることができる。
- 3 本学において修得した共通教育の単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、上記表に掲げる認定しない科目を認めることができる。
- 4 教育職員免許状取得のために科目名(日本国憲法、体育・健康科学理論、体育・健康科学実習、英語ⅠA、英語ⅡA、英語ⅠB、英語ⅡB、初級独語Ⅰ、初級独語Ⅱ、初級仏語Ⅰ、初級仏語Ⅱ、初級中国語Ⅰ、初級中国語Ⅱ、初級韓国語Ⅰ、初級韓国語Ⅱ及び情報活用)を特定する必要がある場合又は卒業要件を満たすために科目名を特定する必要がある場合を除き、科目名は特定しない。
- 5 卒業要件外科目(学芸員資格科目)及び高度共通教育科目の単位認定は行わない。



別表第1-2 (第3条関係)

1年次入学前の既修得単位の認定方法 (共同獣医学部共同獣医学科)

一般教養教育科目	初期教育科目	外国語科目	体育・健康科目
6単位以内 (必修科目を除く。)	認定しない	認定しない	体育・健康理論、体育・健康実習それぞれ1単位

備考

- 1 本学以外において修得した単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、8単位を超えることはできない。
- 2 本学において修得した単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、学部の判断で、上記表に掲げる認定単位数を超えて認めることができる。
- 3 本学において修得した共通教育の単位を、共通教育科目の既修得単位として認定する場合は、上記表に掲げる認定しない科目を認めることができる。
- 4 卒業要件を満たすために科目名を特定する必要がある場合を除き、科目名は特定しない。
- 5 卒業要件外科目 (学芸員資格科目) 及び高度共通教育科目の単位認定は行わない。

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則

平成16年4月1日

規則第144号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目等履修規則(平成16年規則第115号)第12条第2項の規定に基づき、技能審査合格者等の単位認定について必要な事項を定める。

(申請)

第2条 単位の認定を受けようとする者は、所定の申請書に検定試験合格証書等の必要書類を添えて共通教育センター長に提出しなければならない。

2 申請できる単位数は、英語・英語以外の外国語それぞれ最大4単位までとする。

3 同一の級位又は得点を用いて複数回申請することはできない。

4 申請者が同一言語に係る複数の技能審査等の資格又は成績を有している場合、級位又は得点が同等のものを複数用いて申請することはできない。

5 技能審査等の資格又は成績は、申請期間の開始日において、取得した日から2年を経過しないものを有効とする。

6 申請期間は、原則として前期は4月1日から4月20日まで、後期は10月1日から10月20日までとする。

(認定基準)

第3条 単位認定のための認定基準については、共通教育センター運営委員会が別に定める。

(単位認定)

第4条 単位の認定は、共通教育センター外国語教育部門会議の議を経て共通教育センター運営委員会が行う。

2 単位を認定された者の成績は「認定」とする。

3 認定の結果は、申請者に通知する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日の前日において在学する学生は、改正後の第3条第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条及び第3条第3項の規定に関わらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条及び第3条第5項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成30年4月26日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和2年11月26日から施行し、令和2年10月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和3年9月22日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群に係る技能審査等の認定基準に関する申合せ

令和3年7月16日  
 共通教育センター運営委員会決定  
 令和3年9月22日実施

第1 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則（規則第144号）第3条に定める各技能審査等の認定基準は次のとおりとする。

言語	技能審査等の名称	級位又は得点	認定単位	
英 語	実用英語技能 検定	英検(従来型)	a. 1級	4単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)
			b. 準1級	2単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)
		英検CBT及び 英検S-CBT	b. 準1級	2単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)
	TOEIC L&R/TOEIC S&W (TOEIC L&Rに関して、 IPテストを含む) ※4技能(聞く、話す、読む、 書く)試験	a. 1305～1390点 L&R 945点～ S&W 360点～	4単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
		b. 1095～1300点 L&R 785点～ S&W 310点～	2単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
	TOEFL(iBT)	a. トータルスコア95～120点 各セクションスコア22点以上	4単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
		b. トータルスコア72～94点 各セクションスコア17点以上	2単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
	IELTS	a. オーバーオール・バンド・ス コア7.0～8.0点 各パート7.0点以上	4単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
		b. オーバーオール・バンド・ス コア5.5～6.5点 各パート5.5点以上	2単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
	ケンブリッジ英語検定	a. CAE(180～199点)	4単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)	
b. FCE(160～179点)		2単位以内(英語IA・IIA・IB・IIB)		
独 語	ドイツ語技能検定試験	a. 3級から1級	4単位又は2単位(初級独語I・II)	
		b. 4級	2単位(初級独語I)	
	ゲーテ・インスティトゥート 検定試験	a. SD 2 (A2)からGDS (C2)	4単位又は2単位(初級独語I・II)	
		b. SD 1 (A1)	2単位(初級独語I)	
	オーストリア政府公認ドイツ 語能力検定試験	a. GD 2 (A2)からWD(C2)	4単位又は2単位(初級独語I・II)	
		b. GD 1 (A1)	2単位(初級独語I)	
テスト・ダフ(TestDaF)	a. TDN 3 (B2)からTDN 5 (C2)	4単位又は2単位(初級独語I・II)		

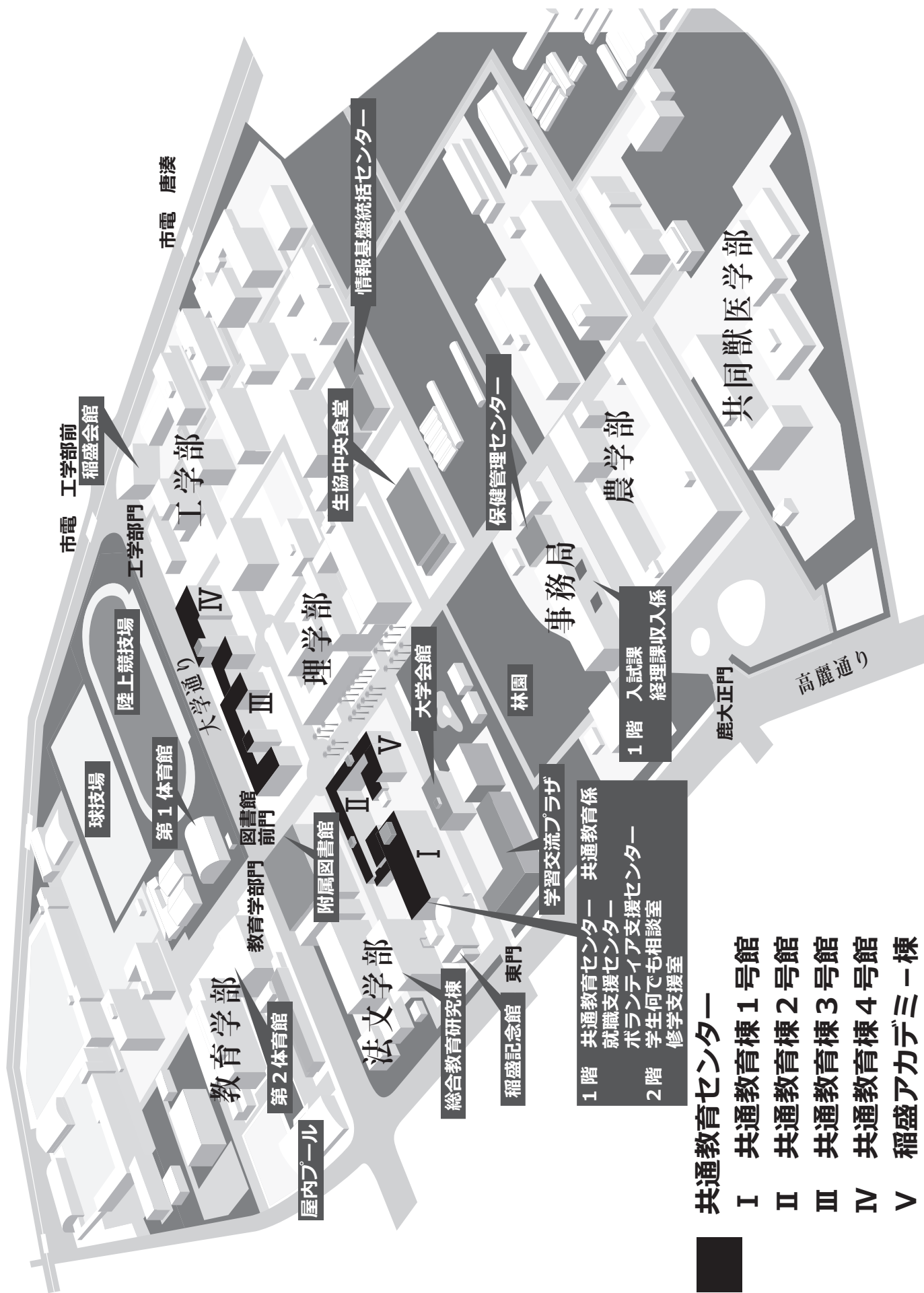
仏語	実用フランス語技能検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 5級	2単位(初級仏語Ⅰ)
	フランス国民教育省・フランス語学力テスト(TCF)	a. A2、B1、B2、C1、C2	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. A1	2単位(初級仏語Ⅰ)
	フランス国民教育省・フランス語学力資格試験(DELF/DALF)	a. A2、B1、B2、C1、C2	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. A1	2単位(初級仏語Ⅰ)
中国語	中国語検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級中国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 準4級	2単位(初級中国語Ⅰ)
	漢語水平考査(HSK)	a. 3級から6級	4単位又は2単位(初級中国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 1級、2級	2単位(初級中国語Ⅰ)
韓国語	ハングル能力検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級韓国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 5級	2単位(初級韓国語Ⅰ)
	韓国語能力試験	a. 2級から6級	4単位又は2単位(初級韓国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 1級	2単位(初級韓国語Ⅰ)

※ 級位又は得点欄に付されている記号(a. b. )は、同じ記号であれば級位又は得点在同一であるとみなす。

第2 第1の規定に関わらず、技能審査等を実施する団体が諸般の事情により暫定的な方法で技能審査等を実施した場合には、これに対応した一時的な認定基準を設けることができるものとする。

#### 附 記

- 1 この申合せは、令和3年9月22日から実施する。
- 2 この申合せの規定に関わらず、令和2年度以前に入学した学生に係る第1の規定は、なお従前の例による。



**共通教育センター**

- I 共通教育棟 1号館**
- II 共通教育棟 2号館**
- III 共通教育棟 3号館**
- IV 共通教育棟 4号館**
- V 稲盛アカデミー棟**

**1階** 共通教育センター 共通教育係  
就職支援センター  
ボランティア支援センター  
学生何でも相談室

**2階** 入試課  
経理課収入係

学習交流プラザ

稲盛記念館 東門

総合教育研究棟

屋内プール

第2体育館

教育学部

教育学部前  
図書館

第1体育館

球技場

陸上競技場

工学部前  
稲盛会館

工学部

理学部

大会館

林園

事務局

農学部

共同獣医学部

情報基盤統括センター

生協中央食堂

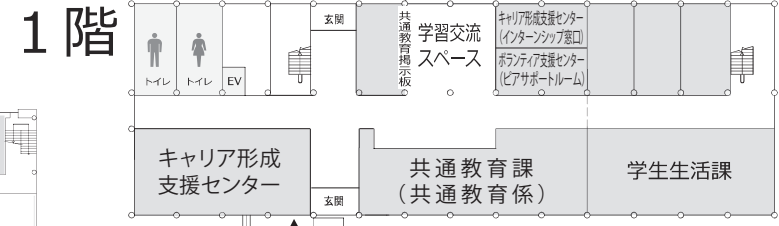
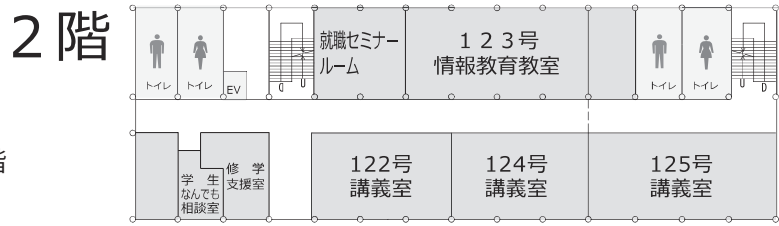
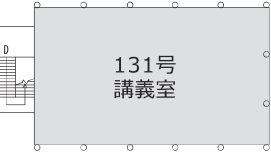
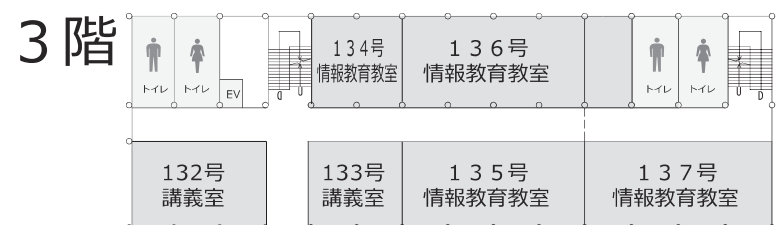
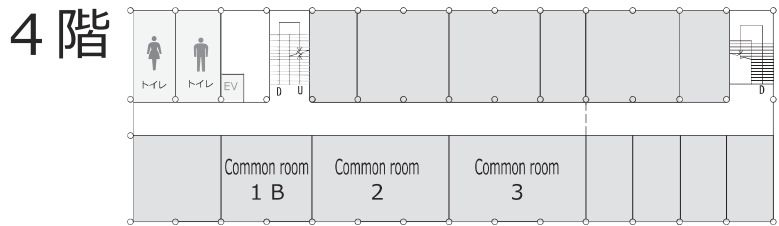
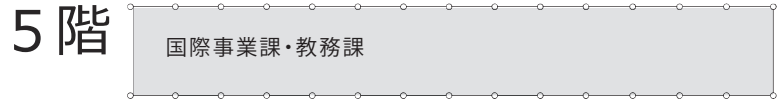
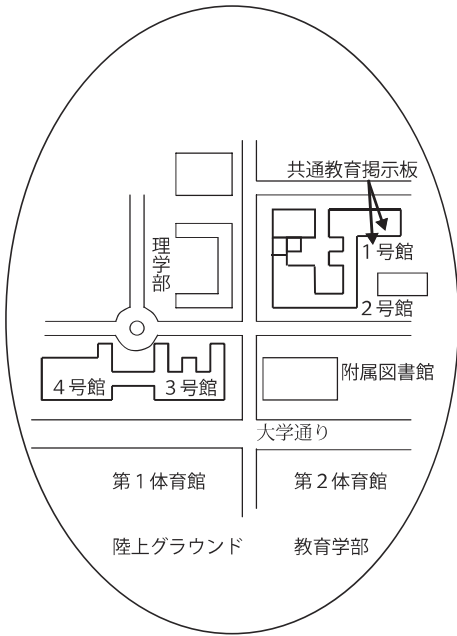
保健管理センター

市電 唐湊

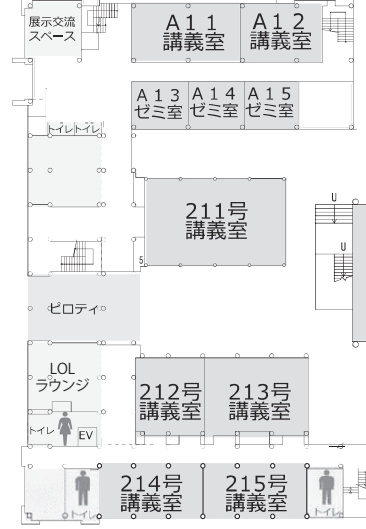
高麗通り

鹿大正門

鹿児島大学共通教育棟配置図



共通教育棟 1号館  
共通教育掲示板



共通教育棟 2号館

講義室の名称について  
(例) 125号講義室 共通教育棟1号館2階  
1は共通教育棟の1号館、2は階数です。

理学部





# 共 通 教 育 科 目 時 間 割 表

















\_\_\_\_\_年度(前・後)期

## 履修申請表(ワークシート)

学部・学科	
学籍番号	
氏名	

履修申請 単位数の合計	単位
----------------	----

	月	火	水	木	金
1 限	時間割コード □□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	科目名 ( )	( )	( )	( )	( )
	担当教員・授業教室				
2 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )
3 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )
4 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )
5 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )

※( )内は、単位数を記入してください。

学 部	学 科 等	組	学 籍 番 号	氏 名